

# 令和7年度 総合計画実施計画

健康福祉部健康推進課 3つのけんしん（健康診査・がん検診・歯科健診）の充実、受診率の向上事業

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	3つのけんしん（健康診査・がん検診・歯科健診）の充実、受診率の向上事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	3つのけんしん（健康診査、がん検診、歯科健診）の充実、受診率の向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支えあって健康寿命をのばす。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		国保特定健診受診率（%）	42.8	51.0	53.5	60.0
	目標（何を達成するのか）	肺がん検診受診率（40～69歳）（%）	3.4	8.0	8.0	8.0
健康診査やがん検診、歯科健診をすすんで受け、自分の健康管理に努める市民を増やす。	かかりつけ歯科医を持つ市民（%）	52.3	60.6	60.6	60.6	

**事業概要**

市民が健康管理を行うための手段である各種けんしんを引き続き実施する。各種健（検）診受診体制の充実を図るとともに、健（検）診受診啓発を行い、受診者数の増加を図る。

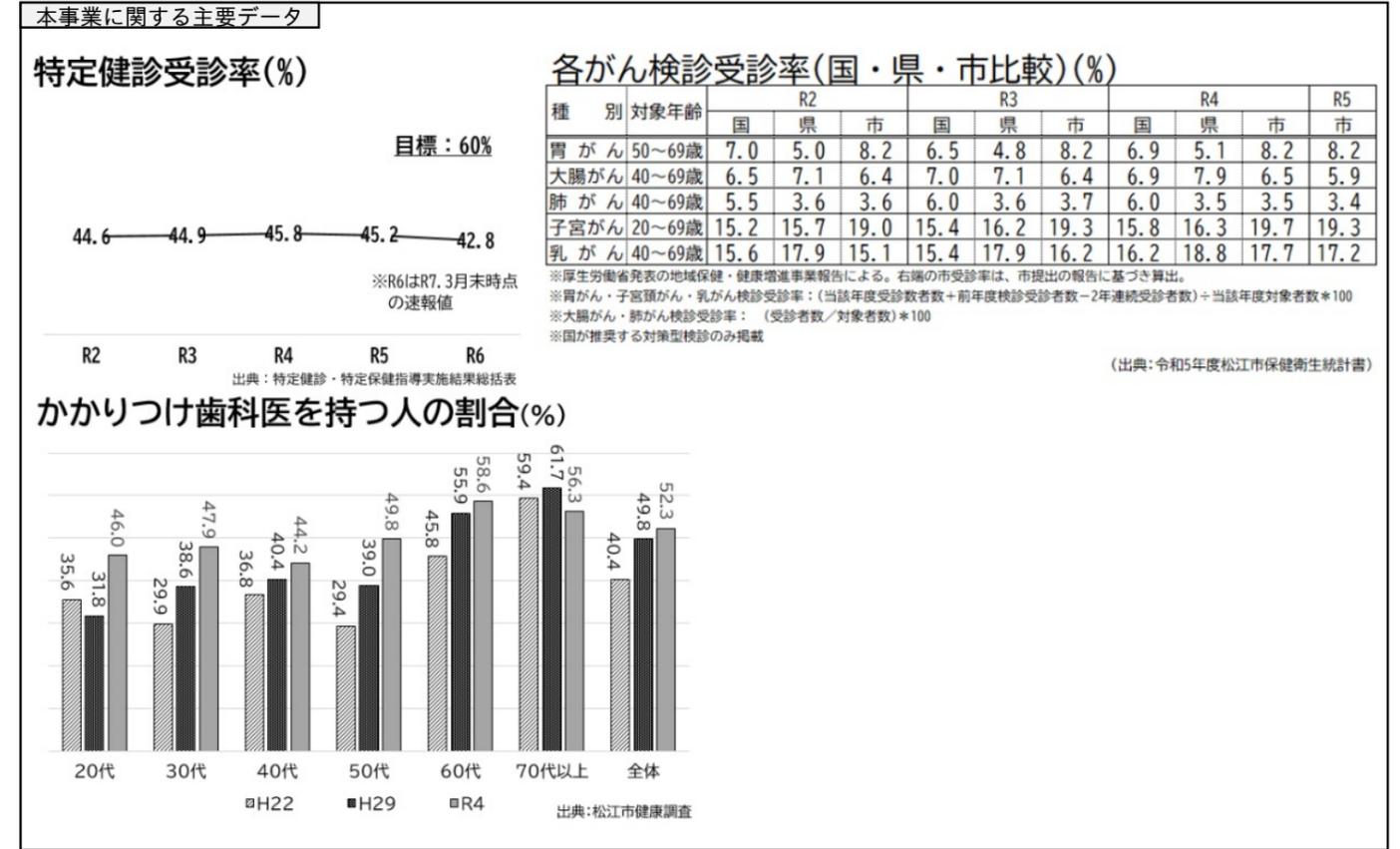
（数値目標の項目）  
 がん検診受診率は、がん種別死亡原因1位である肺がんの検診受診率を掲げる。  
 （数値目標の目標年度）  
 国保特定健診受診率：令和11年度 出典：第3期松江市国保データヘルス計画  
 肺がん検診受診率（40～69歳）：令和16年度（出典：第3次健康まつえ21基本計画）  
 かかりつけ歯科医を持つ市民（かかりつけ歯科医で定期的（年1回以上）に歯科検診を受けている人の割合（20歳以上）：令和16年度（出典：第3次健康まつえ21基本計画）  
 （数値目標の令和6年度実績見込）  
 国保特定健診受診率は令和7年3月末時点の速報値  
 肺がん検診受診率は暫定値として令和5年度の実績値を掲載  
 かかりつけ歯科医を持つ市民の割合は、松江市健康調査の実施予定が令和10年度であるため、当面の間数値に変動はない予定

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	①受診しやすい体制整備 健康診査実施期間の延長、効率的な会場設定、休日集団健診の実施 ②受診勧奨、啓発 受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、ケーブルテレビ、ラジオ、健康メール、関係機関との連携による周知啓発、「けんしんのお知らせ」及びホームページの改定	①受診しやすい体制整備 効率的な会場設定、休日集団健診の実施 ②受診勧奨、啓発 受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ、健康メール、関係機関との連携による周知啓発、受託医療機関への受診率向上に向けた協力依頼、特定健診未受診者への再勧奨通知の実施や電話・訪問等による再勧奨	①受診しやすい体制整備 効率的な会場設定、休日集団健診の実施 ②受診勧奨、啓発 受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、ケーブルテレビ、ラジオ、健康メール、関係機関との連携による周知啓発、特定健診未受診者への再勧奨通知の実施や電話・訪問等による再勧奨
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	574,304	560,250
国・県支出金	146,835	132,364
地方債		
その他	184,337	187,602
一般財源	243,132	240,284
歳入合計	574,304	560,250

課題	方向性	・特定健診受診率は徐々に回復傾向にあるものの、コロナ前の水準には届いていない ・がん検診受診率について、子宮がんや乳がん検診受診率は令和元年度の実績を超えるまで回復しているが、他のがん検診は令和2年度に受診率が下がってから横ばいの状況が続いている ・かかりつけ歯科医を持つ市民の割合は徐々に上昇しているが、目標には届いていない
		・受診率向上に向けた取組みを継続する ・医療機関にも協力を仰ぎ、近隣で実施する健（検）診をアピールするようチラシを掲示する ・健（検）診を受けるメリットが伝わるような効果的な周知啓発を実施する ・受託医療機関への受診率向上に向けた協力依頼

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月下旬	各種受診券発送	12月～2月	各種健（検）診検討会議
	5月末	「けんしんのお知らせ」全戸配布		
	6月～3月	各種健（検）診実施、啓発		
9月	がん征圧月間（ポスター掲示等）			



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
01報償	11,670	12委託料	502,712
03職員手当等	4,477	13使用料及び賃借料	590
04共済費	2,810	18負担金補助及び交付金	4,342
07報償費	784		
08旅費	333		
10需用費	13,776		
11役務費	18,756		
事業費計		560,250	

# 令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	健康まつえ21計画推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支え合って健康寿命をのばす。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		受診率(国保特定健診)(%)	42.8	51.0	53.5	60.0
目標（何を達成するのか）	健康づくりに取り組む市民の割合(%)	42.8	70.0	70.0	70.0	
市民・行政・関係機関が連携して基本計画を推進することで、健康づくりに対する市民一人ひとりの行動の変容を促し、右記の目標を達成する。						

**事業概要**

健康まつえ21基本計画は、健康増進法（平成14年法律第103号）第8条第2項に基づく「市町村健康増進計画」と食育基本法（平成17年法律第63号）第18条に基づく「市町村食育推進計画」を一体的に策定し、「松江市総合計画」及び「松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を上位計画として位置づけ、本市の総合的な健康づくりの指針となる基本計画として策定するもの。

令和5年5月18日に健康まつえ21基本計画の策定及び計画の推進を目的に「健康まつえ21基本計画推進委員会」を設置、令和6年3月に「第3次健康まつえ21基本計画」を策定。

【健康まつえ21基本計画推進委員会】  
 委員・・・12名（医療団体推薦2名、経済団体推薦1名、地域団体推薦6名、学識経験者2名、その他市長が認める者1名）  
 任期・・・2年以内（現委員の任期：R5.7.1～R7.6.30）

【第3次健康まつえ21基本計画】  
 計画期間・・・令和6年度から令和17年度までの12年間  
 基本理念・・・みんなで支え合い健康寿命をのばそう  
 目標・・・健康寿命の延伸

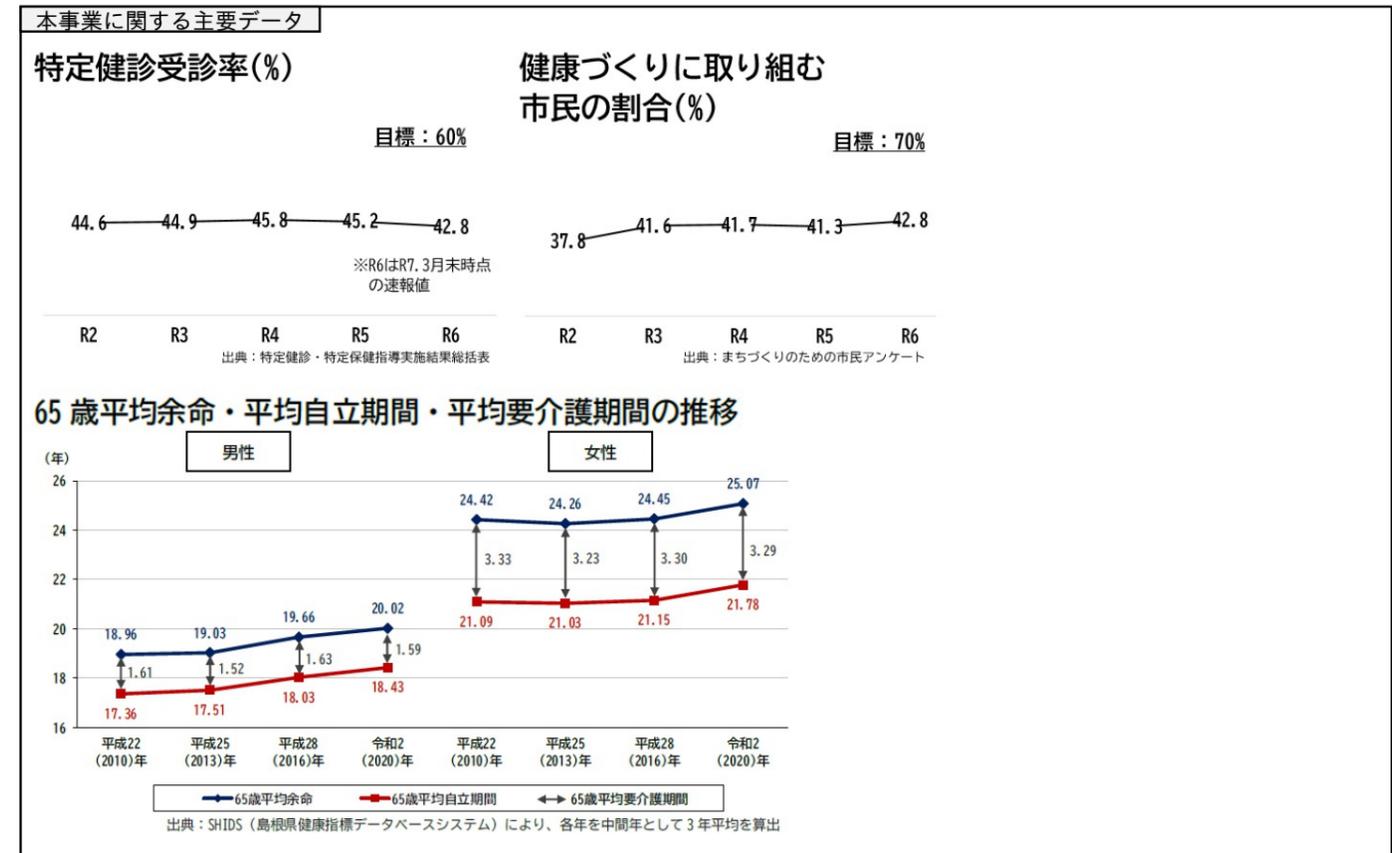
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	①各種取組みの推進 ②推進委員の開催(年2回) ・事業計画に対する意見、事業の進捗管理	①各種取組みの推進 ②推進委員の改選 ③推進委員の開催(年1回) ・事業計画に対する意見、事業の進捗管理	①各種取組みの推進 ②推進委員の開催(年1回) ・事業計画に対する意見、事業の進捗管理
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	376	430
国・県支出金		167
地方債		
その他		
一般財源	376	263
歳入合計	376	430

課題	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康まつえ21基本計画を市民の皆様にご認知していただく必要がある</li> <li>全世代の健康づくりの推進のためには、関係機関との連携が必要である</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進委員会を開催し、事業の進捗管理を行う</li> <li>関係機関と連携し、健康まつえ21基本計画の周知啓発を図る</li> <li>目標の達成に向けて、関係機関と連携して取り組みを推進する</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり（食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策）の推進

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種取組みの推進		
	6月～7月頃	推進委員の改選		
	12月～1月頃	推進委員会の開催		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	76		
需用費	10		
役務費	9		
使用料及び賃借料	335		
事業費計		430	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	自然に健康になれるまち推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	多くの市民が日常生活の中で気軽に継続して取り組める健康づくりのための社会環境をつくる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	健康づくりに取り組んでいる市民（％）	42.8	70	70	70	
目標（何を達成するのか）	生活の中で身体を動かすようにしたり、自分の食生活について関心を持ち、健康づくりに取り組む市民を増やす。					

**事業概要**

（数値目標の目標年度）  
健康づくり（運動・スポーツ）に取り組んでいる市民の割合（％）：2029（R11）年度  
※「まちづくりのための市民アンケート」より  
・「まつえっこ体操」の普及を図り、市民の健康づくりに役立てていく  
・市民が自然に健康的な食生活を選択できる食環境づくりに取り組む

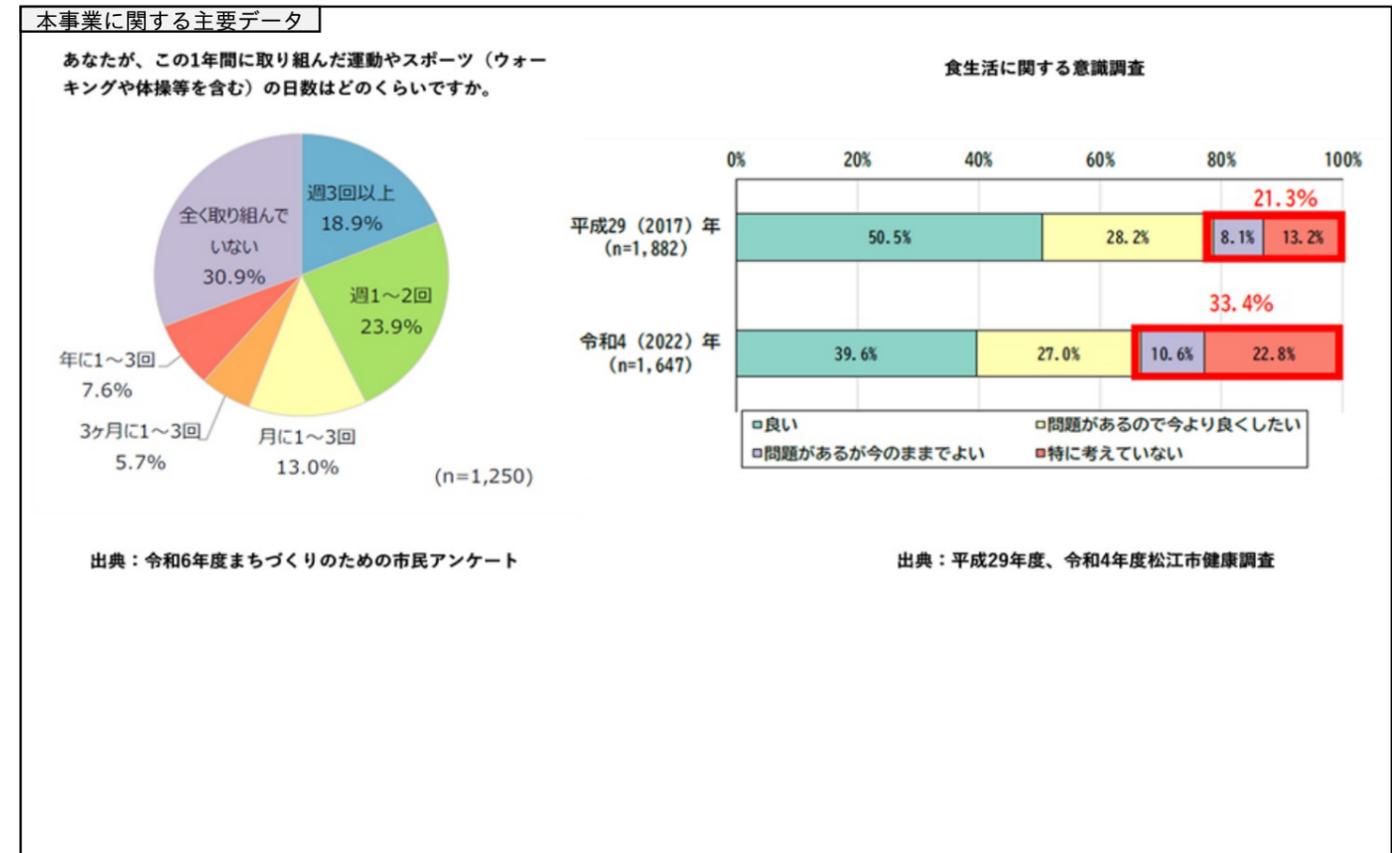
R6実績見込	R7計画	R8計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなでまつえっこ体操」動画の健康福祉フェスティバルでのお披露目と配信・モニター等での放映によるPR</li> <li>しじみちゃん（本市の子育てイメージキャラクター）を活用した「まつえっこ体操」動画の作成</li> <li>「まつえっこ体操」の保育所等での活動や行事、地域の健康づくりイベント等で活用</li> <li>健康的な食環境づくりを推進するための啓発チラシの作成</li> <li>健康に配慮した弁当を教材にした「学べる弁当セミナー」の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しじみちゃんを活用した「まつえっこ体操」動画のPR広告配信</li> <li>「まつえっこ体操」の保育所等での活動や行事、地域の健康づくりイベント等で活用</li> <li>健康的な食環境づくりを推進するための啓発チラシの作成</li> <li>健康に配慮した弁当を教材にした「学べる弁当セミナー」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まつえっこ体操」の保育所等での活動や行事、地域の健康づくりイベント等で活用</li> </ul>
達成度		
1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		308	507
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	308	507
歳入合計		308	507

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりに取り組んでいる市民の割合は、目標値には届いていない。</li> <li>松江市健康調査（R4年度）の結果から、食生活についての関心度の低下がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の効果や必要性に関する啓発を行うとともに、多くの市民が日常生活の中で気軽に運動に親しむことのできる機会や環境づくりを推進する。</li> <li>美味しく、楽しく減塩や野菜摂取を実践するライフスタイルの情報発信や、「健康な食環境づくり」の地域展開を進める。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	自然に健康になれるまち推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月・11月	しじみちゃんを活用した「まつえっこ体操」PR広告配信	随時	食環境に関する啓発・情報発信
	7月～12月	食環境啓発チラシ・ウォーキングマップ作成	随時	
	随時	健康づくりに「まつえっこ体操」を活用		
	随時	しじみちゃんの「まつえっこ体操」モニター等での放映		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	61		
委託料	446		
事業費計			507

# 令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部介護保険課	一般介護予防事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	運動・認知機能の低下や社会参加の機会の減少等によって虚弱になることを防ぎ、要介護状態にならないよう、介護予防活動に取り組む。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		からだ元気塾の参加者数（人）	985	1,150	1,150	1,200
	目標（何を達成するのか）	なごやか寄り合い参加者数（人）	6,844	10,500	10,500	11,000
健康づくりと介護予防の取り組みを推進し、健康寿命の延伸を図る。						

事業概要	<p>高齢者の介護予防・重度化防止の取り組みを推進する。高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進を行う。</p> <p>①からだ元気塾 運動器・認知機能向上のため、市内36会場で週1回開催する運動教室。</p> <p>②なごやか寄り合い 各地区の公民館や集会所で健康講座やレクリエーション等を開催する高齢者の通いの場。</p> <p>&lt;その他の取り組み&gt; ・歯つらつ健口教室 ・オーラルフレイルを予防するため、口腔機能の維持・向上するための教室。市内協力歯科医院で全2回個別教室を実施。 ・リハビリテーション専門職派遣 通いの場や介護施設に専門職を派遣。専門職による介護予防に関する評価・指導・助言を通じて、地域における介護予防の取り組み強化を図る。</p>
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○からだ元気塾                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数（見込み）950人</li> <li>・事業参加者の評価</li> <li>・介護予防番組の放送</li> <li>・栄養士を21箇所の会場へ派遣し、フレイル予防の取組みを強化</li> </ul> </li> <li>○なごやか寄り合い事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者名簿作成、事業評価</li> <li>・新規会場立ち上げ、既存会場の継続支援、世話人への支援・研修開催</li> <li>・コンテンツ企画（なごやか川柳）、SNSや市社協HPなどによる周知啓発</li> </ul> </li> <li>○参加勸奨・普及啓発                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○からだ元気塾                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内36の会場に向けて栄養士を派遣し、取組みの強化を行う</li> <li>・介護予防番組の放送</li> <li>・事業評価</li> </ul> </li> <li>○なごやか寄り合い事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加状況の把握、運営状況についての実態調査</li> <li>・新規会場立ち上げ、既存会場の継続支援、世話人への支援・研修開催</li> <li>・コンテンツ企画、SNSや市社協HPなどによる周知啓発</li> </ul> </li> <li>○参加勸奨・普及啓発                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発</li> </ul> </li> <li>○その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏域ニーズ調査実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○からだ元気塾                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別周知（認定非該当、要支援者、65、75歳到達者）</li> <li>・介護予防番組の放送</li> </ul> </li> <li>○なごやか寄り合い事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者名簿作成、事業評価</li> <li>・新規会場立ち上げ、既存会場の継続支援</li> <li>・専門職派遣、事業対象者の抽出</li> </ul> </li> <li>○参加勸奨・普及啓発                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発</li> </ul> </li> <li>○その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活圏域ニーズ調査分析</li> </ul> </li> </ul>
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	41,536	42,813
国・県支出金	12,663	12,888
地方債	0	0
その他	24,652	25,629
一般財源	4,221	4,296
歳入合計	41,536	42,813

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後高齢者の増加に伴い、介護予防の取組みを推進する必要がある。</li> <li>・からだ元気塾の参加者は、増加傾向であるが目標値には届いていない。</li> <li>・なごやか寄り合いの参加者は、増加傾向であるがコロナ前の水準には戻っていない。また、世話人の負担や高齢化の問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に係る関係機関へ事業周知を行い、関係者を通じて案内することで、参加へのきっかけ作りを図る。</li> <li>・からだ元気塾は、参加者増に向けて周知強化（ポスター掲示や個別通知等）を図り、事業効果や認知度向上につなげる。</li> <li>・なごやか寄り合い事業は、事業の周知啓発（SNS、市社協HPでの周知等）を行うとともに、各会場の継続・再開支援を行う。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	一般介護予防事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	からだ元気塾（各地域で開催）	通年	リハビリテーション専門職派遣事業
	通年	おうち元気塾（年間を通じてマールで放送）	8月	なごやか寄り合い（世話人研修会）
	通年	なごやか寄り合い（各地域で開催）	12月	なごよか寄り合い（見本市）
通年	歯つらつ健口教室（各医療機関で開催）			

本事業に関する主要データ																																																																																					
<p>①からだ元気塾</p> <p>・開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">参加者</th> <th rowspan="2">実施場所数</th> <th rowspan="2">実施回数</th> </tr> <tr> <th>実人員</th> <th>延人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R1</td><td>845</td><td>21,621</td><td>37</td><td>1,622</td></tr> <tr><td>R2</td><td>705</td><td>13,147</td><td>36</td><td>1,211</td></tr> <tr><td>R3</td><td>807</td><td>21,661</td><td>36</td><td>1,876</td></tr> <tr><td>R4</td><td>840</td><td>22,877</td><td>36</td><td>1,939</td></tr> <tr><td>R5</td><td>946</td><td>24,607</td><td>36</td><td>2,117</td></tr> <tr><td>R6</td><td>965</td><td>24,310</td><td>36</td><td>2,001</td></tr> </tbody> </table> <p>※R6は、R6年2月末時点の実績値</p>	年度	参加者		実施場所数	実施回数	実人員	延人員	R1	845	21,621	37	1,622	R2	705	13,147	36	1,211	R3	807	21,661	36	1,876	R4	840	22,877	36	1,939	R5	946	24,607	36	2,117	R6	965	24,310	36	2,001	<p>②なごやか寄り合い事業</p> <p>・開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th>参加者実人数</th> <th rowspan="2">実施箇所数</th> <th rowspan="2">開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr><td>R1</td><td>9,066</td><td>372</td><td>2,943</td></tr> <tr><td>R2</td><td>4,621</td><td>257</td><td>1,429</td></tr> <tr><td>R3</td><td>4,666</td><td>254</td><td>1,734</td></tr> <tr><td>R4</td><td>5,078</td><td>302</td><td>2,034</td></tr> <tr><td>R5</td><td>6,814</td><td>335</td><td>2,557</td></tr> </tbody> </table> <p>※R6実績はR7年5月末確定予定</p>	年度	参加者実人数	実施箇所数	開催回数					R1	9,066	372	2,943	R2	4,621	257	1,429	R3	4,666	254	1,734	R4	5,078	302	2,034	R5	6,814	335	2,557																			
年度		参加者				実施場所数	実施回数																																																																														
	実人員	延人員																																																																																			
R1	845	21,621	37	1,622																																																																																	
R2	705	13,147	36	1,211																																																																																	
R3	807	21,661	36	1,876																																																																																	
R4	840	22,877	36	1,939																																																																																	
R5	946	24,607	36	2,117																																																																																	
R6	965	24,310	36	2,001																																																																																	
年度	参加者実人数	実施箇所数	開催回数																																																																																		
R1	9,066	372	2,943																																																																																		
R2	4,621	257	1,429																																																																																		
R3	4,666	254	1,734																																																																																		
R4	5,078	302	2,034																																																																																		
R5	6,814	335	2,557																																																																																		
<p>・参加者の傾向（性別・年代）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別/年代</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>女性</td><td>90.9%</td><td>92.5%</td><td>90.5%</td><td>91.2%</td><td>88.3%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>2.5%</td><td>2.3%</td><td>2.2%</td><td>1.7%</td><td>1.8%</td></tr> <tr><td>70代</td><td>32.8%</td><td>34.2%</td><td>35.8%</td><td>21.4%</td><td>20.6%</td></tr> <tr><td>80代</td><td>50.7%</td><td>50.6%</td><td>48.7%</td><td>61.5%</td><td>52.5%</td></tr> <tr><td>90代</td><td>4.9%</td><td>5.5%</td><td>3.9%</td><td>15.4%</td><td>13.3%</td></tr> <tr><td>男性</td><td>9.1%</td><td>7.5%</td><td>9.5%</td><td>8.8%</td><td>11.7%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>0.6%</td><td>0.3%</td><td>0.9%</td><td>0.0%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>70代</td><td>2.4%</td><td>2.3%</td><td>2.7%</td><td>27.0%</td><td>3.5%</td></tr> <tr><td>80代</td><td>5.3%</td><td>4.4%</td><td>5.0%</td><td>51.4%</td><td>5.2%</td></tr> <tr><td>90代</td><td>0.8%</td><td>0.6%</td><td>0.9%</td><td>21.6%</td><td>3.1%</td></tr> </tbody> </table>	性別/年代	R1	R2	R3	R4	R5	女性	90.9%	92.5%	90.5%	91.2%	88.3%	60代	2.5%	2.3%	2.2%	1.7%	1.8%	70代	32.8%	34.2%	35.8%	21.4%	20.6%	80代	50.7%	50.6%	48.7%	61.5%	52.5%	90代	4.9%	5.5%	3.9%	15.4%	13.3%	男性	9.1%	7.5%	9.5%	8.8%	11.7%	60代	0.6%	0.3%	0.9%	0.0%	0.0%	70代	2.4%	2.3%	2.7%	27.0%	3.5%	80代	5.3%	4.4%	5.0%	51.4%	5.2%	90代	0.8%	0.6%	0.9%	21.6%	3.1%	<p>・参加者の傾向（性別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>女性</td><td>69.4%</td><td>71.3%</td><td>72.1%</td><td>70.4%</td><td>68.3%</td></tr> <tr><td>男性</td><td>30.6%</td><td>28.7%</td><td>27.9%</td><td>29.6%</td><td>31.7%</td></tr> </tbody> </table>	性別	R1	R2	R3	R4	R5	女性	69.4%	71.3%	72.1%	70.4%	68.3%	男性	30.6%	28.7%	27.9%	29.6%	31.7%
性別/年代	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																
女性	90.9%	92.5%	90.5%	91.2%	88.3%																																																																																
60代	2.5%	2.3%	2.2%	1.7%	1.8%																																																																																
70代	32.8%	34.2%	35.8%	21.4%	20.6%																																																																																
80代	50.7%	50.6%	48.7%	61.5%	52.5%																																																																																
90代	4.9%	5.5%	3.9%	15.4%	13.3%																																																																																
男性	9.1%	7.5%	9.5%	8.8%	11.7%																																																																																
60代	0.6%	0.3%	0.9%	0.0%	0.0%																																																																																
70代	2.4%	2.3%	2.7%	27.0%	3.5%																																																																																
80代	5.3%	4.4%	5.0%	51.4%	5.2%																																																																																
90代	0.8%	0.6%	0.9%	21.6%	3.1%																																																																																
性別	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																
女性	69.4%	71.3%	72.1%	70.4%	68.3%																																																																																
男性	30.6%	28.7%	27.9%	29.6%	31.7%																																																																																

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部リサイクル都市推進課	分別啓発事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ごみの分別を徹底し、減量化・資源化を促進するため、市民や事業者に対し、啓発活動を行い、ごみの分別推進を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	数値目標にそぐわない。					
	目標（何を達成するのか）					
市民や事業者のごみの減量化・資源化を図る。						

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	出前講座と環境学習の開催		

事業概要	子ども用ごみの分別啓発パンフレットを作成し、松江市内の小学校4年生の環境学習資料や親子学習、各種クラブの子ども達を対象に分別啓発を行うために準備する。（エコクリーン松江、西持田リサイクルプラザ、エコステーション松江、川向リサイクルプラザ）
------	---

本事業に関する主要データ	

事業計画	R6実績見込			R7計画			R8計画			
	出前講座	6 地域団体	83 名	出前講座	10 地域団体	180 名	出前講座	10 地域団体	180 名	
	環境学習	1 小学校	1 名	環境学習	10 小学校	220 名	環境学習	10 小学校	220 名	
		4 中学校	13 名							
		2 大学	2 名							
	達成度									
	1	計画目標に向けて順調に推移								

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		1,042	1,397
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		1,366
	一般財源	1,042	31
歳入合計		1,042	1,397

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	1,307		
役務費	90		
事業費計		1,397	

課題	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行したが、出前講座や環境学習の開催を控えている現状が続いている。	方向性	少人数への対応も含め、希望に応じた学習会の開催を検討する。
----	--	-----	-------------------------------

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	ブルーカーボン活用事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	海草や海藻、水草等によって吸収される二酸化炭素（ブルーカーボン）を活用したカーボンオフセットにより、二酸化炭素の吸収促進にあわせ、地域振興や産業振興、環境保全につながる取組を確立する。	項目（成果指標） 成果指標になじまない。	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出を実質ゼロにする（カーボンニュートラルの実現）。					

事業概要	市内水域（日本海・宍道湖・中海・大橋川・松江堀川 等）におけるブルーカーボンのポテンシャルを踏まえて地産地消モデルを構築する。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブルーカーボンによる地産地消モデルの構築</li> <li>・情報発信</li> <li>[日本海]</li> <li>・定着ワカメ及び養殖ワカメによるCO2吸収固定効果のクレジット化に向けた協議会等の設立</li> <li>・シジミ殻の有効活用による藻場ブロック等の効果モニタリング</li> <li>[宍道湖]</li> <li>・回収したヨシヤシジミ殻の製品化検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[日本海]</li> <li>・協議会の事業である、気候変動対策によるワカメ養殖、藻場の造成の実施</li> <li>・定着ワカメ及び養殖ワカメによるCO2吸収固定効果によるJブルークレジット認証の申請</li> <li>・Jブルークレジット認証量の増加の取組</li> <li>・他地域への横展開（地域ごとの協議会設立など）</li> <li>・シジミ殻の有効活用による藻場ブロック等の効果モニタリング</li> <li>[宍道湖]</li> <li>・回収したヨシヤシジミ殻の製品化検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>[日本海]</li> <li>・定着ワカメ及び養殖ワカメによるCO2吸収固定効果のクレジット化に向けた協議会等の設立</li> <li>・定着ワカメ及び養殖ワカメによるCO2吸収固定効果によるJブルークレジット認証の申請</li> <li>・Jブルークレジット認証量の増加の取組</li> <li>・他地域への横展開（地域ごとの協議会設立など）</li> <li>・シジミ殻の有効活用による藻場ブロック等の効果モニタリング</li> <li>[宍道湖]</li> <li>・回収したヨシヤシジミ殻の製品化検討</li> </ul>
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	495	3,000
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	495	3,000
	一般財源	0	0
歳入合計		495	3,000

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国の認証制度の確立</li> <li>○海藻等の生育に必要な期間の確保</li> <li>○藻場造成エリアの選定</li> <li>○プレイヤーの確保（漁業者・自治会・NPO・行政等）</li> <li>○クレジット認証に向けた協議会等の設立</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブルーカーボン・オフセットの実現に向けた支援</li> <li>○クレジット認証による地域振興や産業振興、環境保全につながる取組の推進</li> </ul>
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	ブルーカーボン活用事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月～3月	Jブルークレジット認証に向けた事業業務委託	3月	協議会開催
	6月～7月	ワカメ養殖及び藻場造成によるクレジット化に向けての協議		
	8～12月	磯焼けおよび養殖ワカメ実施エリアのモニタリング		
	7月～3月	他地域での協議会の設立検討		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,000		
事業費計			3,000

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	カーボンニュートラル推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ゼロカーボンシティの実現に対する市民理解の拡大と具体的活動の実践に向け、市民・事業者・行政の協働による取組を推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出を実質ゼロにする。（カーボンニュートラルの実現）	成果指標になじまない				

事業概要

○「カーボンニュートラルに関する連携協定」に基づき市内の中小企業に向け脱炭素をテーマとした「脱炭素セミナー」を開催する。

○2050年ゼロカーボンシティの実現に対する市民理解の拡大と具体的活動の実践に向け、市民・事業者・行政の協働による取組として「まつえ環境フェスティバル」を開催する。企業や団体の取組の発表の場とすることで、ゼロカーボンシティへの機運を高める。

○堀川遊覧船の電動化を進めることで、観光にかかるエネルギーの脱炭素化を図り、観光客に対しゼロカーボン観光の体験を提供する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	①脱炭素セミナー2024in山陰の開催（参加者：164人） ②まつえ環境フェスティバル2024の開催（参加者：900人） ③堀川遊覧船電動化（補助） ④まつえ水素活用勉強会・講演会の開催（参加者：154人） まつえ水素活用協議会の設立（参加者：131人）	○脱炭素セミナーの開催 ○まつえ環境フェスティバルの開催 ○堀川遊覧船電動化（補助）	○脱炭素セミナーの開催 ○まつえ環境フェスティバルの開催 ○堀川遊覧船電動化（補助）
達成度			
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	1,508	1,893
国・県支出金	0	
地方債		
その他	1,508	1,893
一般財源	0	0
歳入合計	1,508	1,893

課題	参画する企業・団体等の集約	方向性
	○具体的活動の実践内容	
		○幅広い関係者と連携・協働し情報・課題・認識を共有する。 ○企業・団体等それぞれの取組に対し協力・補完しつつ、自らの行動の向上を促進する。 ○取組の見える化を進める。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	カーボンニュートラル推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	9月	まつえ環境フェスティバル開催		
	11月	脱炭素セミナー開催		

本事業に関する主要データ

①脱炭素セミナー2024in山陰

山陰合同銀行、中国電力との共催で、市内の事業所を対象に、省エネ、脱炭素をテーマとしたセミナーを実施

②まつえ環境フェスティバル2024

地球にやさしい循環型の暮らしや脱炭素を体験するブースやまつえ循環プロジェクトの取組を紹介

③堀川遊覧船電動化

松江観光のシンボルの一つである堀川遊覧船の電動化を図り、脱炭素を取り組む松江市の象徴とするため、松江市観光振興公社へ補助




R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,893		
事業費計			1,893

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部大橋川治水・国県事業推進課	水辺の利活用促進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	水辺の利活用と回遊性を高めるかわまちづくり

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地において賑わいが失われている大橋川周辺の水辺空間のリノベーションを進め、持続可能な利活用の仕組みをつくるとともに、人と人とのつながりが広がり賑わいのある水辺空間の創出を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	「水道湖・大橋川かわまちづくり計画」に関連する事業を実施し、賑わいやまちあるぎ動線の創出を図り、あるきたくなるまちを目指す。	水辺の公共空間活用日数（日/年）	259	370	395	406
	目標（何を達成するのか）	水辺が利用しやすいと感じる市民割合（%）	31	62	64	70

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	ミズベリング松江協議会会議	10月	ミズベリング縁日（岸公園）
	4～3月	協議会構成団体の水辺利活用促進		
	4～3月	水面利用ルール調整・策定・周知		
	7月	水辺で乾杯		

**事業概要**

【かわまちづくり計画に基づくソフト・ハード施策の実施】

- ・官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進
- ・水辺の利活用普及推進イベントの実施
- ・河川空間のオープン化の調整・要望・実施
- ・水面利用ルールの協議・調整・策定・周知
- ・千鳥南公園の再整備及び国による親水護岸整備との協議・調整

本事業に関する主要データ

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・利活用普及推進イベント（岸公園「ミズベデカンパイ」「ミズベリング縁日」、水辺ステージ「完成記念イベント」） ・岸公園及び白濁公園の河川空間のオープン化 ・水面利用ルールに係る関係者ヒアリングの実施 ・白濁公園の整備の方向性に係る関係者意見とりまとめ	・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・利活用普及推進イベント ・水面利用ルールの決定・普及	・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・利活用普及推進イベント ・水面利用ルールの普及
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,640	800
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,640	400
	一般財源	0	400
歳入合計		3,640	800

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	800		
事業費計			800

**課題**

・L字ラインの回遊性向上と中心市街地の活性化のため、水辺の利活用（ソフト）に加え、大橋川改修に合わせた連続的な歩行空間・水辺空間の整備（ハード）が必要。  
・水面利用ルール策定にあたり、関係者の利害調整が必要。

**方向性**

・「河川空間のオープン化」を進め、水辺空間の利用促進を図る。  
・水面利用ルールを関係者総意により策定し、水面利用の促進を図る。

# 令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部大橋川治水・国県事業推進課、道路課	白潟地区都市構造再編集中支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地において賑わいの動線をつなげ、歩きたくなる水辺空間や市街地を形成することにより、中心市街地の魅力向上を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 大橋川拡幅に合わせ、遊休不動産の活用やまちあるきルートの形成、まちなみ景観の整備を進め、白潟地区と大橋川周辺の水辺に賑わいを創出し、動線をつなげることを目指す。	中心市街地の歩行者自転車通行量（人/年）	25,375	24,500	24,500	24,500
	水辺の公共空間活用日数（日/年）	259	370	395	406	

**【施策方針1 既存ストックと水辺空間の活用】**  
 ・水辺の賑わい拠点整備（約1400㎡）、交流拠点整備（約215㎡）、出店基盤整備、まちづくり委員会への専門家派遣、公共空間（水辺・広場・歩道）における社会実験、白潟公園利用促進基盤整備基本計画作成

**【施策方針2 地域資源を巡るまちあるきルートの創出】**  
 ・歩行者空間整備及び美装化（松江港線、和多見天神橋線ほか）、景観照明整備（73基）、案内板整備（6基）

**【施策方針3 水辺や都市空間と調和した落ち着いた落ち着きのあるまちなみ形成】**  
 ・電線類の地中化（松江港線、和多見天神橋線）、住宅等修景支援

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源共同溝整備工事（松江港線、和多見天神橋線）</li> <li>歩行者空間整備工事（和多見天神橋線）</li> <li>第2期白潟地区都市再生整備計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者空間整備工事（和多見天神橋線）</li> <li>歩行者空間整備設計（松江港線）</li> <li>電線共同溝詳細設計（松江港線）</li> <li>電線共同溝整備工事（松江港線）</li> <li>白潟公園社会実験の実施</li> <li>白潟公園利用促進基盤整備基本計画の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者空間整備工事（和多見天神橋線、松江港線）</li> <li>電線共同溝整備工事（和多見天神橋線、松江港線）</li> <li>景観照明詳細設計（松江港線、大橋川河川敷地）</li> <li>住宅等修景支援</li> </ul>
	※電線共同溝整備工事（松江港線、和多見天神橋線）、歩行者空間整備工事（和多見天神橋線）は、令和7年度に契約繰越。		

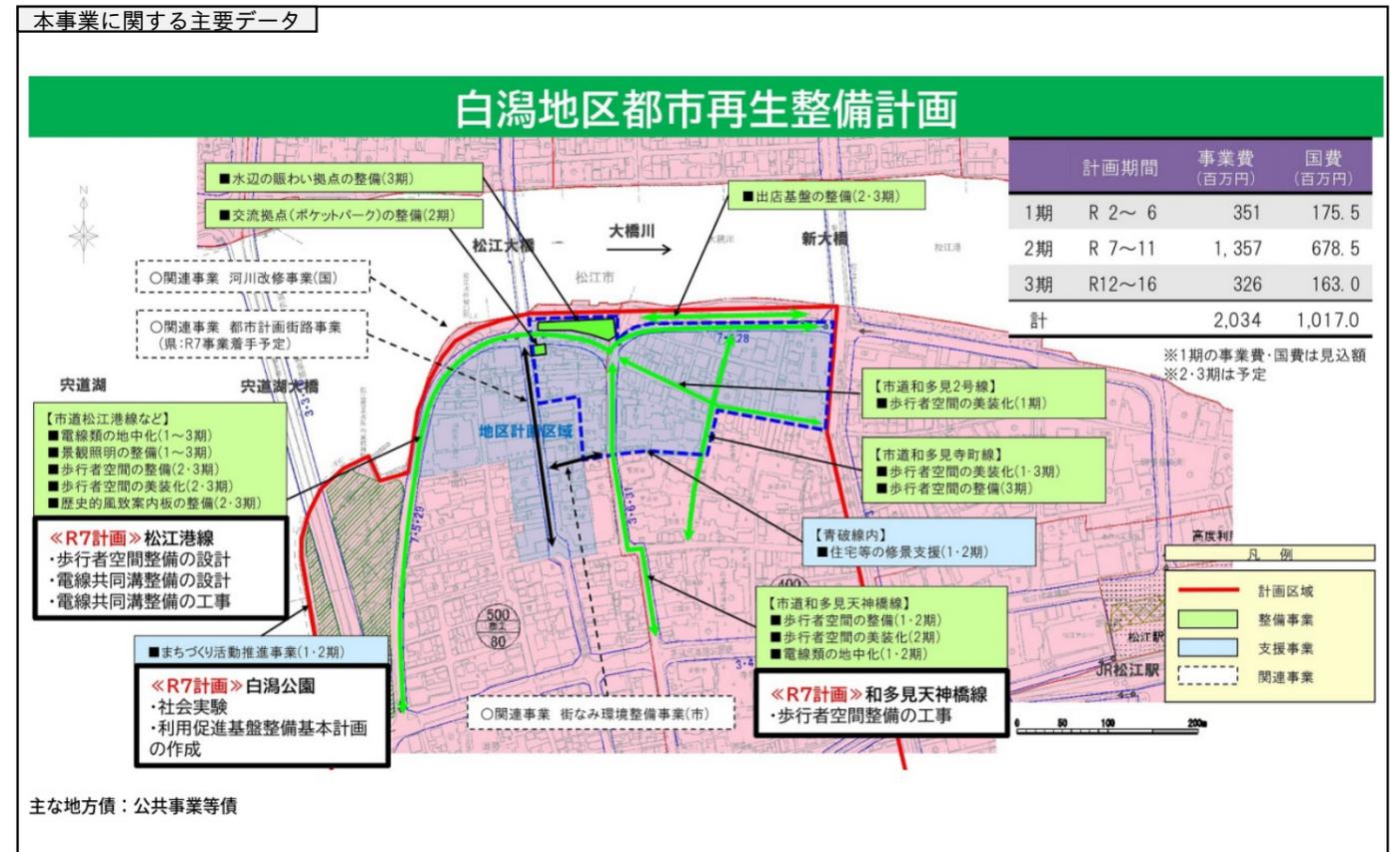
歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	132,783	186,300
国・県支出金	46,400	92,239
地方債	74,500	85,300
その他	639	1,821
一般財源	11,244	6,940
歳入合計	132,783	186,300

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりを担う民間プレイヤーの育成が必要</li> <li>水辺や歴史的なまちなみを巡るための歩行者空間に連続性が必要</li> <li>大橋川改修や新大橋架替え、白潟本町通り整備と整合したまちづくりが必要</li> <li>施工にあたり、国（大橋川改修）、県（新大橋架替え）、電線管理者、既設埋設管管理者等との調整が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江駅前から白潟を通り松江城に達するまでの動線上に、歩きたくなる魅力的なエリアを形成する</li> <li>関係者との調整を綿密に行い、確実な整備を図る</li> </ul>

都市整備部大橋川治水・国県事業推進課、道路課 白潟地区都市構造再編集中支援事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	大橋川改修に伴うまちづくり（白潟地区都市構造再編集中支援事業）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	和多見天神橋線電線類地中化、歩行者空間整備工事委託	9月～3月	松江港線電線類地中化整備工事
	4月～10月	松江港線電線類地中化整備工事		
	6月～3月	白潟公園社会実験、基本計画作成業務委託		
	7月～1月	松江港線電線類地中化整備設計業務委託		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	64,300		
工事請負費	122,000		
事業費計			186,300

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
まちづくり部都市政策課	J R 松江駅前整備検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江駅から殿町周辺までのL字ラインの賑わいの動線をつくるため、駅周辺エリアの拠点性を高め、賑わいの創出を図る。	項目（成果指標） 指標設定になじまない	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 松江駅前が「人々が集う松江の顔、松江の玄関」となるよう、目指すべき将来イメージとして「松江駅前デザイン」を作成し、官民連携の取り組みにつなげていく。					

**事業概要**  
 松江駅前が、総合計画や中心市街地エリアビジョンに掲げる「人々が集う松江の顔」ならびに「多くの来訪者が憩い集う松江の玄関」となることを目標に、「駅前に必要な機能」、「松江らしさの演出」、「回遊性の向上や賑わいにつながる仕掛け」などについて、「松江駅前デザイン会議」での議論を進めるとともに、アンケート調査等により市民意見を収集し、松江駅前のあるべき姿、将来像となる「松江駅前デザイン」をまとめる。デザイン完成後は、市で目指すべき方向性を整理し、再開発の検討を進めていく。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	松江駅前デザイン会議（4回開催） ・アンケートの実施 ・市民意見募集の実施	・松江駅前デザイン会議（2～3回開催） ・「松江駅前デザイン」の作成・公表  ・「松江駅前デザイン」を4期松江市中心市街地活性化基本計画へ位置づける  ・デザイン完成後、市で目指すべき方向性を整理し、再開発の検討を進めていく	中長期的な視点で作成した「松江駅前デザイン」の方向性を踏まえ検討する
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,974	0
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,974	0
歳入合計		3,974	0

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>一畑百貨店の閉店により、駅周辺の拠点性・賑わいの低下が心配される。</li> <li>早急に松江駅前のあるべき姿、将来像を整理し、市民や民間事業者の皆様と共有する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能の再配置を含め、松江駅前が魅力的な場所になるよう官民連携のもとで検討を進める。</li> <li>松江市地域公共交通計画との整合を図る。</li> <li>「松江駅前デザイン」を4期松江市中心市街地活性化基本計画に位置づけることで、実施主体（プレイヤー）が現れた際に、公的支援が受けられる体制の準備を整える。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	まちなかにおける賑わい拠点づくり

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～10月	松江駅前デザイン会議		
	12月	松江駅前デザインの作成		
	3月	4期松江市中心市街地活性化基本計画への位置づけ(認定)		

**本事業に関する主要データ**

**「松江駅前デザイン会議」の役割**

**松江市総合計画 MATSUE DREAMS 2030**  
 松江のチャレンジ  
 JR松江駅前に人々が集う「松江の顔」となる広場を整備  
 <2030年、市民の実感>  
 松江には歩きたくなるまちなみがある

**中心市街地エリアビジョン 松江駅周辺ゾーン**  
 多くの来訪者が憩い集う松江の玄関  
 南北駅前広場の機能の再配置  
 駅から歩きたくなる空間・店舗のつながりの創出  
 伊勢宮町に夜間の歩行者専用道路化  
 市民が集う松江の食の台所

**松江駅前に特化したビジョン**  
**「松江駅前デザイン」の作成**  
 【例】松江駅前に必要な機能の配置  
 「松江らしさ」の演出  
 回遊性の向上・賑わいにつながる仕掛けづくり

**スケジュール**

	R5年度	R6年度	R7年度
松江駅前デザイン会議	①会議 12/26	②会議 3/25 ③会議 5/27 ④会議 7/23	⑤会議 10/8 ⑥会議 12/27 ⑦会議 ⑧会議
意見聴取	アンケート 4/12～4/25	意見募集 9/2～9/17	『松江駅前デザイン』完成・公表

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	こどもたちが遊びたくなる公園づくり事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「こどもの生活に直結した安心安全なまちづくり」に向け、いつでも安心・安全に利用できる公園とするため、公園の遊具等の修繕を行い、子育て環境日本一を目指す。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない。	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	使用禁止遊具解消の徹底を図り、公園利用者を増やす。					

事業概要	こども連れの方をはじめ、あらゆる市民の皆様がいつでも安心・安全に利用できる公園とするため、使用禁止措置としている遊具の早期解消を優先に、修繕、更新を進めていく。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■遊具の修繕・廃止（30基）</li> <li>■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託（38件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■遊具の修繕・廃止（31基）</li> <li>■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託（38件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■遊具の修繕・廃止（30基）</li> <li>■公園管理業務委託（38件）</li> </ul>
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	60,794	61,662
	国・県支出金	0	0
	地方債	379	1,700
	その他	24,726	29,040
	一般財源	35,689	30,922
歳入合計		60,794	61,662

課題	こども連れの方など市民に身近な公園において、使用禁止遊具が増加しており、公園の利用がしづらくなっている。	方向性	「MATSUE Park Vision」で示している「将来も利用したくなる魅力的な、利用しやすい公園づくり」のため、重点的に使用禁止遊具の対応を行い、早期に解消を行う。 具体的には、令和7年度も引き続き、使用禁止遊具を発見次第、迅速に対応できる概数発注による修繕を行う。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	概数発注方式による新規に発生した使用禁止遊具の修繕対応		
	4～3月	公園管理業務委託		
	4～3月	遊具更新・修繕工事		

本事業に関する主要データ				
■使用禁止遊具の修繕・更新・廃止の対応計画				
対応数				
R5年度（実績）	R6年度（実績）	R7年度（予定）		
39	25	31		
※点検や通報により、新たに修繕等が必要な遊具が発見された場合には、対応数が増となる。				
■公園遊具修繕・更新・廃止の対応計画				
予算費目	遊具の状態	R5年度（実績）	R6年度（実績）	R7年度（予定）
こどもたちが遊びたくなる公園づくり事業費	使用禁止	38	18	30
	予防保全	12	12	1
公園管理費	使用禁止	1		
	予防保全	1	1	
公園遊具長寿命化対策事業費	使用禁止		6	
	予防保全			
農山漁村公園事業	使用禁止		1	1
	予防保全			
合計		52	38	32

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	57,472		
工事請負費	4,190		
事業費計			61,662

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	公衆トイレ整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「選ばれるまち松江」を将来像に掲げ、国際文化観光都市である松江市のイメージアップを図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
	目標（何を達成するのか）					
市民や観光客にとって利用しやすい公衆トイレ環境としていく。						

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～11月	穴道総合公園（古墳の森）公衆トイレ工事		

**事業概要**

「松江市ひとにやさしいまちづくり条例」に基づき策定した「松江市公衆トイレの整備実施計画～みんなのためのトイレづくり～」により、子ども連れの方や、障がいのある方など、あらゆる市民や観光客にとって利用しやすい公衆トイレ環境の構築について、具体的な優先整備ゾーンや実施期限等を定めて実施していく。ただし、松江湖畔公園の公衆トイレについては、松江湖畔公園再整備事業で実施する。

**本事業に関する主要データ**

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<b>■トイレ改修設計</b> 改修設計（洋便器化） 1箇所  <b>工事</b> 改修工事（洋便器化） 1箇所	<b>■トイレ改修工事</b> 改修工事（洋便器化） 1箇所	<b>■トイレ改修設計</b> 多目的トイレ（温水便座付き洋便器）の設置 1箇所 和便器から洋便器化 2箇所 男女兼用トイレの解消 1箇所  <b>工事</b> 改修工事（和便器から洋便器化） 1箇所
	達成度 3 計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,497	49,858
	国・県支出金	0	24,305
	地方債	1,100	21,800
	その他		
	一般財源	1,397	3,753
歳入合計		2,497	49,858

**課題**

公衆トイレについては所管課が多岐にわたるため、事業実施にあたり整備順序等の調整が必要となる。また、計画の中で廃止するトイレも設定しているが、住民へ今回の計画を理解していただくための手法を検討していく必要がある。

**方向性**

関係課と調整を図りながら、平準化して整備が進むよう調整を図る。将来的に全市においてトイレ設置数が適正になるよう配置し、整備するトイレについてはその機能の拡充を図る。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	10,523		
工事請負費	39,335		
事業費計			49,858

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	松江湖畔公園再整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等に隣接する松江湖畔公園の立地特性を踏まえ、多くの市民や観光客の憩いの場や水辺の賑わいを創出していく。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない。	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、松江湖畔公園の将来の利用形態を見据えた再整備を行うことで、水辺や市街地の賑わいを創出していく。					

事業概要	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、観光客や湖岸・公園を利用される市民のための利便性・快適性の向上を目的とした公園整備を実施する。
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画	
	【白瀧公園】 ・トイレ改修実施設計 ・トイレ改修工事 【千鳥南公園】 ・植栽撤去	【千鳥南公園】 ・公園詳細設計業務委託 ・公園改修工事 ・国への譲渡箇所（ちゃぶちゃぶ広場）の用地測量および譲渡	【千鳥南公園】 ・公園改修工事	
	達成度			
	1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	38,920	56,285
	国・県支出金	16,890	26,108
	地方債	15,800	28,400
	その他	0	1,777
	一般財源	6,230	0
歳入合計		38,920	56,285

課題	松江湖畔公園の再整備にあたり、「かわまちづくり支援制度」を活用し、市民が利活用しやすい水辺空間の創出や民間活力を活かした水辺の賑わいづくりに関連して、公募設置管理制度等の民間活力の導入に向けた検討や新庁舎整備事業との調整が必要となってくる。	方向性	水辺の利活用として「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」と新庁舎整備事業の進行スケジュールとの調整を図りながら、水辺の賑わいづくりを創出していくため、松江湖畔公園の再整備について、検討を行っていく。 なお千鳥南公園については、水辺ステージ及び多目的テラスが令和7年4月から順次供用開始となる。水辺のオープン化に向けた実証実験を開始していく。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～8月	千鳥南公園 公園詳細設計業務委託		
	9月～3月	千鳥南公園 公園改修工事		
	11月～3月	国への譲渡箇所の用地測量および譲渡		

本事業に関する主要データ

至 国宝松江城

松江しんじ湖温泉駅

松江しんじ湖温泉

千鳥南公園

松江市役所

工事箇所①  
＜松江市役所前エリア＞  
・水辺ステージ

工事箇所②  
＜松江しんじ湖温泉前エリア＞  
・多目的テラス

工事箇所③  
＜千鳥南公園前エリア＞  
・親水護岸  
・ちゃぶちゃぶ広場  
・千鳥南公園(再整備)

親水護岸 完成イメージ

ちゃぶちゃぶ広場 完成イメージ

千鳥南公園(再整備) 完成イメージ

資料提供：国土交通省出雲河川事務所(松江市により一部加工)

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	8,552		
使用料及び賃借料	192		
工事請負費	47,541		
事業費計			56,285

# 令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	揖屋ふれあい広場（南広場）代替公園整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ヨリアイーナを揖屋ふれあい広場（南広場）に建設することになり、新たに旧東出雲支所・旧東出雲公民館跡地に代替公園を整備する。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない。	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	整備する公園は、新しい揖屋幼保園及び既存の東出雲体育館と隣接した公園となり、周辺住民のサービスの質の維持向上と、公共ストックの適正化を実現する。					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	公園実施設計業務委託		
	4～3月	公園トイレ実施設計業務委託		

**事業概要**  
 揖屋ふれあい広場（南広場）はJR揖屋駅南側にあった都市公園で、ヨリアイーナ建設に伴い一時的に面積を減じたが、都市公園は安易に面積減少ができないため、旧東出雲支所・旧東出雲公民館解体に併せて跡地に代替公園を整備するもの。

本事業に関する主要データ

公園 (4,880m<sup>2</sup>)

揖屋幼保園（仮）

東出雲体育館

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
公園整備（道路含む）	基本設計		詳細設計	公園整備工事		供用開始

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・東出雲支所跡地代替公園基本設計業務委託	・東出雲支所跡地代替公園実施設計業務委託 ・東出雲支所跡地代替公園トイレ実施設計業務委託	造成工事＋トイレ工事（R9年度に公園全体が完成予定）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		5,610	26,867
財源内訳	国・県支出金	0	13,433
	地方債	0	12,000
	その他	0	0
	一般財源	5,610	1,434
歳入合計		5,610	26,867

課題	・遊具の種類や配置の決定については、地域住民への聞き取りや、隣接地に建設予定の揖屋幼保園との連携が必要となる。 ・旧東出雲支所・旧東出雲公民館の解体が生じるため、解体後の既存の杭の処置や引き渡しの際の整備状況、支障物や残置物の整理・移転等について協議が必要。	方向性	・保育所幼稚園課や公共建築課等の関係各課と綿密な連絡や協議を行いながら事業を進める。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	26,867		
事業費計			26,867

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	北公園周辺エリア整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	総合体育館のアリーナ拡張工事に伴う人流増加を契機とし、北公園に加え県立プール跡地・くにびき駐車場合めた周辺エリア全体を新たな賑わい拠点とする。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない。	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	北公園について、総合体育館周辺エリア未来ビジョンを踏まえて、雨や日差しをしのげる広場、こどもの遊び場やアーバンスポーツの場の整備や、水辺空間の利活用を推進し、幅広い世代が憩い遊べる空間を創出する。					

**事業概要**

- 北公園内の松江市総合体育館は、プロバスケットボールB1リーグに所属する「島根スサノオマジック」の本拠地として使用されており、令和8年度までに新B1参加基準を満たすため、観客席数の増等を目的とした体育館のアリーナ拡張工事を進めており、周辺エリアの人流の増加が見込まれる。
- これを契機とし、「総合体育館周辺エリア未来ビジョン」を策定し、民間活力を活用したエリア全体の整備・利活用を進めていく。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合体育館周辺エリア未来ビジョン検討会議（令和6年度北公園周辺整備検討業務委託）の開催（年5回）。</li> <li>「エリア未来ビジョン」の策定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンディング</li> <li>プロポーザル仕様書作成</li> </ul>	プロポーザル
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,523	0
	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	6,523	0
歳入合計		6,523	0

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>「エリア未来ビジョン」を踏まえた、県立プール跡地・くにびき駐車場合めたエリア全体の整備・管理・利活用の具体的な方向性の検討。</li> <li>県立プール跡地と北公園側の連携・接続方法の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北公園・県立プール跡地・くにびき駐車場を含めたエリア全体について、民間事業者による開発・管理・利活用ニーズを探り、「エリア未来ビジョン」を踏まえ一体的な整備・管理・利活用を実現させる。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
総務部総務課	交通安全対策事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市交通安全対策会議を中心として、警察、各地区交通安全対策協議会等と連携し、市民に交通安全と交通事故防止を呼びかけることにより、「安心して安全なまちづくり」を実現する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 「日本一交通事故のない県都松江」の実現	交通事故発生件数（件）	286	180	160	140
		交通事故の少ない県庁所在市順位（位）	3	1	1	1

**事業概要**  
第11次松江市交通安全計画(R3～R7年度)に基づき施策を展開する。交通指導員、交通安全地区教育指導員等による地域住民への交通安全教育を実施し、地域ぐるみの交通安全対策を推進する。また、市内の事業所を「交通安全モデル事業所」に指定することで企業へも交通安全に対する意識づけを行い、交通事故防止のための取り組みを行う。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開した。 ・交通指導員による街頭指導 ・交通安全地区教育指導員による各地区、学校等における交通安全教室の実施 ・自転車マナーアップ運動の実施 ・交通安全モデル事業所の選定による安全運転管理体制の強化等	第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開する。 ・交通指導員による街頭指導 ・交通安全地区教育指導員による各地区、学校等における交通安全教室の実施 ・自転車マナーアップ運動の実施 ・交通安全モデル事業所の選定による安全運転管理体制の強化等	新たに策定予定である第12次松江市交通安全計画（R8～R12年度）に基づき施策を展開する。
	達成度	2	計画目標に向かって概ね順調

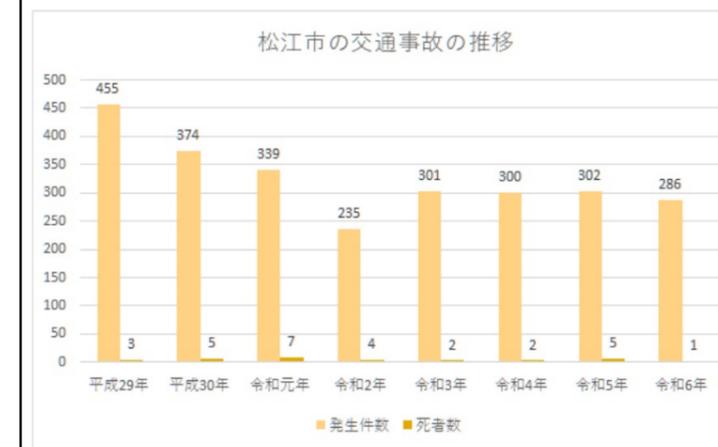
財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)		
	R6	R7	
	決算見込	当初予算	
	事業費	19,986	21,247
	国・県支出金		
	地方債		
その他			
一般財源	19,986	21,247	
歳入合計	19,986	21,247	

課題	各地区交通安全対策協議会、交通指導員、交通安全地区教育指導員等に、地域における交通安全対策の中心的役割を長年担っていただいているが、高齢化も進み、次世代の担い手確保に苦慮している。	方向性	引き続き警察や、地域の要である交通安全対策協議会等と連絡しながら、取り組んでいく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	交通安全対策事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～	交通指導員による街頭指導	8月頃	交通安全対策連絡協議会総会
	4月～	各地区交通安全対策協議会補助金による事業実施	9月頃	松江市交通安全功労者表彰
	4月・9月	自転車マナーアップ運動	随時	交通安全地区教育指導員等による交通安全教室
6月・7月	交通安全対策会議幹事会・総会			

本事業に関する主要データ



◆第11次松江市交通安全計画（令和3年度～令和7年度）

- 【計画目標】
- ①交通事故発生件数 180件以下
  - ②交通事故死者数 3人以下
  - ③交通事故重傷者数 35人以下
  - ④踏切道事故 0件

- ◆交通安全推進のための委嘱・指定
- ・交通指導員 105名 (S44年発足)
  - ・交通安全地区教育指導員 88名 (H8年発足)
  - ・交通安全モデル事業所 30事業所 (H6年発足)

(令和7年4月1日現在)

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,629	負担金補助及び交付金	2,678
職員手当等	1,008		
共済費	629		
報償費	12,687		
旅費	41		
需用費	1,342		
役務費	233		
事業費計		21,247	

# 令和7年度 総合計画実施計画

教育委員会教育総務課 揖屋小学校整備事業費、揖屋小学校整備事業費（継続費）、揖屋小学校増改築事業費（継続費）

所属	事業名
教育委員会教育総務課	揖屋小学校整備事業費、揖屋小学校整備事業費（継続費）、揖屋小学校増改築事業費（継続費）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	学校施設の長寿命化改良事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	児童の安全性の確保及び教育環境の改善を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		校舎等整備進捗率（%）	70	100	100	100
	目標（何を達成するのか）	校舎長寿命化進捗率（%）	40	100	100	100
老朽化が進む揖屋小学校校舎及び屋内運動場の長寿命化を図るとともに新しい時代の学びや地域開放への対応、特別支援教育の充実を図る。	法面対策進捗率（%）			100	100	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	校舎長寿命化改良工事		
	4～3月	仮設校舎リース		

事業概要	(数値目標の目標年度) 項目名 校舎長寿命化進捗率（%）：2025（R7）年度
	老朽化した校舎及び屋内運動場を長寿命化改良し、併せて今の時代に必要な機能を追加することで良好な教育環境等を持続的に確保する。 令和3年度：現況調査、基本計画 令和4年度：地盤調査、実施設計 令和5年度：校舎増改築工事、屋内運動場長寿命化改良工事 令和6年度：校舎増改築工事、校舎長寿命化改良工事 令和7年度：校舎長寿命化改良工事 令和8年度：法面対策工事（レッドゾーン対策）

本事業に関する主要データ

＜揖屋小学校配置図＞

＜主な工事内容＞

- ☆ 躯体耐久性の向上（コンクリート強度の健全化等）
- ☆ 屋上防水
- ☆ 外壁改修
- ☆ 電気設備の更新
- ☆ 機械設備の更新

主な地方債：学校教育施設等整備事業債

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・校舎増改築工事（ラーニングコモンズ等の整備） ・仮設校舎リース（R8年3月まで）  【評価】計画通りに実施でき、教育環境の改善を図ることができた。	・校舎長寿命化改良工事（2年目） ・仮設校舎リース（R8年3月まで）	・法面対策工事（レッドゾーン対策）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R6 決算見込	R7 当初予算
事業費	724,613	1,247,152
国・県支出金	142,181	154,623
地方債	554,000	1,091,000
その他	0	
一般財源	28,432	1,529
歳入合計	724,613	1,247,152

課題	方向性
・児童が学校生活を過ごす中で並行して校舎の改修工事を行うため、工事期間中に校舎と仮設校舎間で複数回引越しを行う必要があり、スケジュールに制約がある中で事業を進める必要がある。	・工事内容、工事計画等について庁内関係課及び工事関係者、学校などと綿密な連絡や協議を行いながら事業を進める。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	40		
役務費	312		
委託料	1,089		
使用料及び賃借料	116,358		
事業費計		117,799	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館施設改修事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	公民館施設の適正な維持管理	項目（成果指標） 数値目標になじまない。	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	施設の状況に応じて、計画的に改修等を行う。					

事業概要	老朽化等に伴い、公民館の施設・設備等の改修を行う。施設・設備の耐用年数を踏まえ、優先度の高いものから実施する。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>美保関公民館／空調改修工事</li> <li>島根公民館／空調改修工事</li> <li>雑賀公民館／空調改修工事</li> <li>津田公民館／屋上防水修繕</li> </ul> <p>※城西公民館の空調改修工事については、R5年度からR6年度に繰り越して実施することとしていたが、機器価格や人件費の高騰などによりR6年度の実施も困難となり、R7年度に先送りすることとした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>城西公民館／空調改修工事</li> <li>島根公民館／受変電設備更新工事（設計・工事）</li> <li>竹矢公民館／よらこい会館 空調更新工事（設計）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹矢公民館／よらこい会館 空調更新工事</li> <li>生馬公民館／屋上防水改修工事（設計）</li> <li>持田公民館／屋上防水改修工事（設計）</li> <li>法吉公民館／高圧受電設備更新工事</li> </ul>
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,169	45,822
	国・県支出金	0	0
	地方債	3,800	43,900
	その他	0	0
	一般財源	2,369	1,922
歳入合計		6,169	45,822

課題	施設の老朽化が進行している。	方向性	特定建築物定期点検等の設備の定期点検を通じて、施設の状況を把握し、計画的に改修等を行う。
----	----------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	公民館施設改修事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	城西公民館／空調改修工事		
	4月～3月	島根公民館／受変電設備更新工事（設計・工事）		
	4月～3月	竹矢公民館／よらこい会館 空調更新工事（設計）		

本事業に関する主要データ	
公民館建築時期	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■S50年代                     <ul style="list-style-type: none"> <li>竹矢公民館/玉湯公民館（H27改修）/朝酌公民館/乃木公民館（H18改修）</li> <li>美保関公民館/鹿島公民館（H27改修）/本庄公民館</li> </ul> </li> <li>■S60年代                     <ul style="list-style-type: none"> <li>大野公民館/忌部公民館/古志原公民館/秋鹿公民館</li> </ul> </li> <li>■H元年～10年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>持田公民館/川津公民館/生馬公民館/八雲公民館（H25改修）/朝日公民館/城北公民館/八束公民館/（H29改修）</li> </ul> </li> <li>■H11年～20年                     <ul style="list-style-type: none"> <li>白湯公民館/法吉公民館/城東公民館/城西公民館/島根公民館</li> </ul> </li> <li>■H21年以降                     <ul style="list-style-type: none"> <li>雑賀公民館/津田公民館/大庭公民館/宍道公民館/古江公民館/東出雲公民館</li> </ul> </li> </ul>	

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,985		
工事請負費	43,837		
事業費計		45,822	

令和7年度 総合計画実施計画

教育委員会生涯学習課 竹矢公民館整備事業費、竹矢公民館整備事業費（継続費）、竹矢公民館建設・解体事業費（継続費）

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	竹矢公民館整備事業費、竹矢公民館整備事業費（継続費）、竹矢公民館建設・解体事業費（継続費）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	竹矢公民館整備事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	計画的な公民館の施設整備・更新	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		数値目標になじまない。				
	目標（何を達成するのか）					
	竹矢公民館の建替え					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～5月	新公民館変更実施設計	8月～10月	旧公民館解体準備工事
	～5月	現公民館解体設計	6月～10月	新公民館建設・旧公民館解体工事工損調査
	5月～8月	竹矢幼稚園（仮設公民館）改修工事	11月～	新公民館建設・旧公民館解体工事
	9月～10月	仮設公民館移転作業		

**事業概要**

- ・市内公民館で最も建築後の経過年数が長く、老朽化も進行している竹矢公民館を建て替えるもの。
- ・建設場所は現地建て替えとし、形態は平屋建てとする。
- ・現地建て替えのため、現公民館解体から新公民館建設の間、休園中の竹矢幼稚園を改修し、仮設公民館として活用する。

**本事業に関する主要データ**

○(現)竹矢公民館の概要

- ・建築年月 昭和54年3月
- ・構造等 鉄筋コンクリート2階建て
- ・延床面積 559㎡
- ・対象区域 矢田町(一部地域を除く)、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町、青葉台
- ・利用者数 15,392人 (R5)、12,491人 (R4) 10,676人(R3)、10,012人(R2)、22,032人(R1)

○建設スケジュール

	R5	R6	R7	R8	R9
埋蔵文化財調査	準備	本調査			施設オープン
現公民館解体		設計	解体工事		
新公民館建設		実施設計		建設工事	
仮設公民館（旧竹矢幼稚園）		設計	改修	移転	

○主な地方債：緊急防災・減災事業、一般事業、公共施設等適正管理推進事業（除却事業）

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財発掘調査（本調査）</li> <li>・竹矢幼稚園（仮設公民館）改修設計</li> <li>・新公民館変更実施設計（継続～R7）</li> <li>・現公民館解体設計（継続～R7）</li> <li>・地盤調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹矢幼稚園（仮設公民館）改修工事</li> <li>・仮設公民館移転作業</li> <li>・新公民館変更実施設計（R6～継続）</li> <li>・現公民館解体設計（R6～継続）</li> <li>・旧公民館解体準備工事</li> <li>・新公民館建設・旧公民館解体工事工損調査（事前）</li> <li>・新公民館建設・旧公民館解体工事（継続～R8）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新公民館建設・旧公民館解体工事（R7～継続）</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	43,955	222,175
	国・県支出金	0	0
	地方債	12,000	208,400
	その他	0	0
	一般財源	31,955	13,775
歳入合計		43,955	222,175

**課題**

建設予定地から埋蔵文化財が出土したことにより、当初の計画（R5年度：建設工事～竣工、R6年度：新公民館開設）から大幅に遅れが生じている。

**方向性**

R9年度の新公民館開設に向け、新たに組み直したスケジュール通りに事業を進める。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
給料	661	委託料	15,633
職員手当等	276	使用料及び賃借料	229
共済費	161	工事請負費	204,064
報償金	8		
旅費	3		
需用費	1,038		
役務費	102		
事業費計		222,175	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
消防総務課	現場指揮体制の構築

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	現場指導体制の構築

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	令和3年4月に発生した島根県加賀の大規模火災の教訓から、災害現場の司令塔となる指揮機能をさらに強化する必要があるとの認識に至り、指揮隊の早期整備を図るもの。	項目（成果指標） 指揮隊要員（人）	R6実績見込 3	R7計画 3	R8計画 3	目標値 8
	目標（何を達成するのか）					
	指揮隊の整備により、迅速に災害実態を把握し、その情報に基づく対応を決定し、また、消防隊や消防団への指示伝達系統が強化されることで、災害の早期終息を図ることができる。					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

事業概要	<p>令和3年4月に発生した島根町加賀の大規模火災では、情報の収集、活動方針の決定と各隊への伝達、消防職員、団員の安全管理、広報活動などが困難であったことから、専属指揮隊の整備及び充実・強化に取り組む。</p> <p>令和4年度は北消防署警防隊に指揮担当職員を配置し指揮体制をスタートさせ、その後、職員採用による指揮隊要員の増員や研修による人材育成を図り、令和6年度中に専属指揮隊を整備します。</p>
------	---

本事業に関する主要データ	Empty space for data
--------------	----------------------

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	北消防署警防隊に指揮担当職員を配置し、また、研修を通じ指揮隊要員の人材育成を図る。	令和7年度中に専属指揮隊の運用を開始し、また、先進地への指揮隊研修を継続することで指揮隊要員の人材育成を図る。	指揮隊に関する先進地研修を継続し、指揮隊要員の人材育成を図る。
	達成度		
4	計画目標に向け進捗は遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

課題	専属指揮隊を整備するためには、指揮要員の増員確保が必要である。	方向性	通常の消防吏員採用試験に加え、消防経験者を対象とした採用試験を新たに設けるなどし、指揮隊要員の確保を図る。
----	---------------------------------	-----	---

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
消防本部消防総務課	救急救命士の養成

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	救急救命士の育成強化（職員研修）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	救急救命士が救急車に常時乗車し、早期に救急救命処置を施すことが可能な体制を継続的に維持する必要がある。これにより、救急体制の充実、強化が図られ、救命率の向上を図ることが可能となる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		年間救急救命士養成者数（人）	3	3	4	4
	目標（何を達成するのか）					
	救急業務に従事する救急救命士を60名確保するため、計画的に救急救命士を養成確保する。					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

事業概要	救急救命士を養成するために必要な「救急救命士養成課程研修」を職員に計画的に受講させ、救急救命士を養成する。
------	---

本事業に関する主要データ	
--------------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	救急救命士3名養成	令和7年4月から9月まで2名、令和7年10月から令和8年3月まで1名が研修機関で研修し、合計3名の救急救命士を養成する。	令和8年4月から9月まで2名、令和8年10月から令和9年3月まで2名が研修機関で研修し、合計4名の救急救命士を養成する。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

課題	救急救命士制度が発足し約30年が経過し、定年退職や管理職職員となる救急救命士数が出現していることから、継続的な救急救命士の養成確保が必要である。	方向性	救急業務に従事する救急救命士を60名確保するために、計画的に救急救命士を養成する。
----	--	-----	---



令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	道路愛護団経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	住民自らが住みやすい生活環境を保全するよう努めることを目的に、松江市の管理する道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行う団体を支援するもの。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		道路愛護団登録数（一般）	271	276	276	276
	目標（何を達成するのか）					
	住民自らが道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行うことにより、道路の環境美化の達成と活動により地域コミュニティを図れる。					

事業概要	市民団体が行う市道等の道路美化、沿道草刈、側溝清掃に対して市が委託料を支出するもの
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	道路愛護団登録数（一般）271団体	道路愛護団登録数（一般）276団体	道路愛護団登録数（一般）276団体
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	14,087	14,574
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	14,087	14,574
	歳入合計	14,087	14,574

課題	近年、高齢化により作業実施が困難になってきている団体があり、登録抹消する団体もある。今後も高齢化が進むことで、さらに抹消する団体が増える懸念がある。	方向性	登録している団体に引き続きの登録を呼びかけるとともに、新規団体へのPRを推進し、登録団体数の増加を目指す。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	道路維持管理

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ				
基本委託金	事業名	事業別委託金	支払対象回数	作業延長(m) (単位 m)
1万円 (1回支給)	美化事業	発生しない。 (ボランティア活動)		100m以上
	草刈事業	作業延長1mあたり 10円を乗じた額とする。 (延べ作業延長)	2回まで	1回につき100m 以上かつ 刈幅0.5m以上
	枝切事業	1万円	1回まで	100m以上
	清掃事業 (蓋無し)	作業延長1mあたり 10円を乗じた額とする。 (延べ作業延長)	1回まで	30m以上
	清掃事業 (蓋有り)	作業延長1mあたり 20円を乗じた額とする。 (延べ作業延長)	1回まで	30m以上
基本委託金	事業名	事業別委託金	支払対象回数	作業延長(m) (単位 m)
なし	現物支給事業	1万円 (碎石・蓋の支給を除く。)	1回まで	5m以上

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	229		
委託料	14,345		
事業費計			14,574

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部河川課	河川浄化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	河川環境保全活動の一環として、地域住民・地元企業等による河川愛護団活動を行なうことにより、河川愛護精神の高揚を図り、住民自らが住み良い生活環境の保全に努めることを目的とする。	項目（成果指標） 愛護団登録団体数	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	164	166	167	170	
	河川愛護団登録団体数の増加					

事業概要	河川の清掃等環境保全に係る業務を行う。河川愛護団による市内一級河川の堤防除草作業、業務委託による市内河川の堤防除草作業などを実施。なお、県管理河川の環境保全のための経費については、1/2の県単独補助がなされる。
------	---

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	愛護団登録団体数：164団体	愛護団登録団体数：166団体	愛護団登録団体数：167団体
	達成度		
3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	49,819	47,747
	国・県支出金	25,917	23,590
	地方債	0	0
	その他		
	一般財源	23,902	24,157
歳入合計		49,819	47,747

課題	河川愛護団・愛護団構成員の高齢化による人員の減少及び活動の休止・縮小が懸念される。	方向性	河川愛護団・自治会、地域ボランティア団体などに向け、広く河川愛護団制度を周知し、新規登録に向けた取り組みを行なっていく。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	河川浄化事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	実施計画書の提出		
	5月～12月	河川堤防除草作業		
	通年	河川愛護団登録に向けた周知活動		

本事業に関する主要データ

一般愛護団（玉湯川）



企業愛護団（馬橋川）



一般愛護団（天神川）



企業愛護団（須田川）



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	80		
役員費	2,164		
委託料	45,503		
事業費計		47,747	

# 令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	自転車ネットワーク道路整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業（社会資本整備総合交付金）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市歩行環境整備ビジョンに基づく自転車ネットワーク道路整備を行い、歩行者・自転車双方の安全を確保する。あわせて、環境配慮や渋滞緩和を目的として自転車利用を推進する。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		累計整備済延長(km)	20.6	22.4	23.8	37.2
	目標（何を達成するのか）	整備率（%）	55.3	60.2	63.8	100
菅田比津線 整備延長(2,004m・両側)他15線の自転車通行帯整備 計画総延長37.2km						

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	交付申請・交付決定		
	7月～2月	自転車通行帯設計業務委託		
	9月～2月	自転車通行帯工事		

事業概要	松江市歩行環境整備ビジョン(R6～R15)の計画目標 自転車道整備事業80%：2033(令和15)年度
	自転車ネットワーク計画に基づき、未整備路線に自転車の通行環境整備を行う。通行量の多い路線について、自転車通行帯を分離し、自転車及び歩行者の安全確保と自転車利用を推進する。



事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	菅田比津線 自転車通行帯工事 43m(両側)	菅田比津線 自転車通行帯工事 50m(両側)	菅田比津線 自転車通行帯工事 383m(両側)
	(供用延長) (目標値 37.2km) (実績 20.6km)	(供用延長) (目標値 37.2km) (予定 22.4km)	(供用延長) (目標値 37.2km) (予定 23.8km)
	達成度		
	3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		25,000
	国・県支出金		13,750
	地方債		10,100
	その他		0
	一般財源	0	1,150
歳入合計		0	25,000

課題	城下町特有の狭い街路によって、工事の制約が多く、施工費も割高となることから、限られた予算の中で整備延長を延ばすことが困難。
方向性	現在の道路環境を踏まえて、車道の左側端（路肩）を利用した自転車走行指導帯を整備するなど、路線ごとにその形態を明確化し、整備率及び安全性の向上を図る。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	5,000		
工事請負費	20,000		
事業費計			25,000

# 令和7年度 総合計画実施計画

都市整備部道路課 こどもたちを守る交通安全対策事業費（補助、単独）

所属	事業名
都市整備部道路課	こどもたちを守る交通安全対策事業費（補助、単独）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	道路管理者として、通学路のうち危険が認められる箇所の対策工事を実施し、生徒が安全に通学できる道路交通環境の整備を行うもの。	項目（成果指標） 通学路整備箇所数（箇所）	R6実績見込 67	R7計画 91	R8計画 80	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	危険箇所の改良整備による通学路の安全確保					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	小・中学校等からの要望書提出		
	8月～1月	要望箇所の点検及び対策の検討		
	2月～3月	要望書の回答		
	通年	対策工事、測量調査設計業務		

**事業概要**  
通学路の交通安全を確保するため、関係機関との危険箇所の抽出・点検・対策検討を行い、交通安全対策が必要な箇所について対策工事を実施し、安全の確保に向けた道路交通環境の改善を図る。

**本事業に関する主要データ**

**令和6年度**

- ・スムーズ横断歩道設置工事（市道古志原香南台線）
- ・スムーズ横断歩道設置工事（市道工業高校南1号線）



対策前



対策後



対策前



対策後

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	通学路整備予定箇所 67箇所 【主要路線（補助）】 ・西持田大田線：改良工事 ・工業高校東1号線：改良工事 ・ハサラ沼5号線：改良工事	通学路整備予定箇所 91箇所 【主要路線（補助）】 ・西持田大田線：改良工事 ・新町・須田線：用地買収	通学路整備予定箇所 80箇所 【主要路線（補助）】 ・西持田大田線：改良工事 ・工業高校東1号線：改良工事 ・京塚柿廻線：改良工事
	達成度		

2 | 計画目標に向かって概ね順調

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		70,938
	国・県支出金		28,015
	地方債		38,600
	その他		0
	一般財源	0	4,323
歳入合計		0	70,938

課題	対策が必要な箇所及び各要望件数が多いため、予算内で優先順位をつけて対策を行う必要がある。	方向性	抽出された箇所の危険度や重要度を検討しながら対策を実施する。
----	--	-----	--------------------------------

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
使用料及び賃借料	130		
工事請負費	69,870		
公有財産購入費	938		
事業費計		70,938	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	要配慮者支援推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	高齢者や障がい者などの要配慮者が住みなれた地域でいつまでも安心・安全に暮らしていくために、平常時から、地域での「共助」「支え合い」の仕組みづくり（要配慮者支援組織の設置）を目的とするもの。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		世帯カバー率（%）	46.9	70	70	70.0
	目標（何を達成するのか）					
	要配慮支援組織世帯カバー率（※1）：70% （※1）世帯カバー率：組織の活動範囲に含まれる世帯数／住基世帯数					
	数値目標の目標年度：R11（2029）年度					

事業概要	高齢者や障がい者などの要配慮者が住みなれた地域でいつまでも安心・安全に暮らしていけるよう、地域コミュニティ（共助）を活用した平常時および災害時の支援体制構築を目的に、各地域の実情に応じた要配慮者支援組織の立ち上げを推進し、その立ち上げ時および運営時に補助を行うもの。
	<p>○経過</p> <p>平成23年度～要配慮者支援組織の設置を推進。 平成28年度～災害対策基本法に基づく「避難行動要支援者※2名簿」の作成。 平成29年度～地域内の要配慮者の把握に活用できるよう、避難支援等関係者※3へ「避難行動要支援者名簿」（平常時から名簿情報の提供について同意があるもの）の提供。</p>

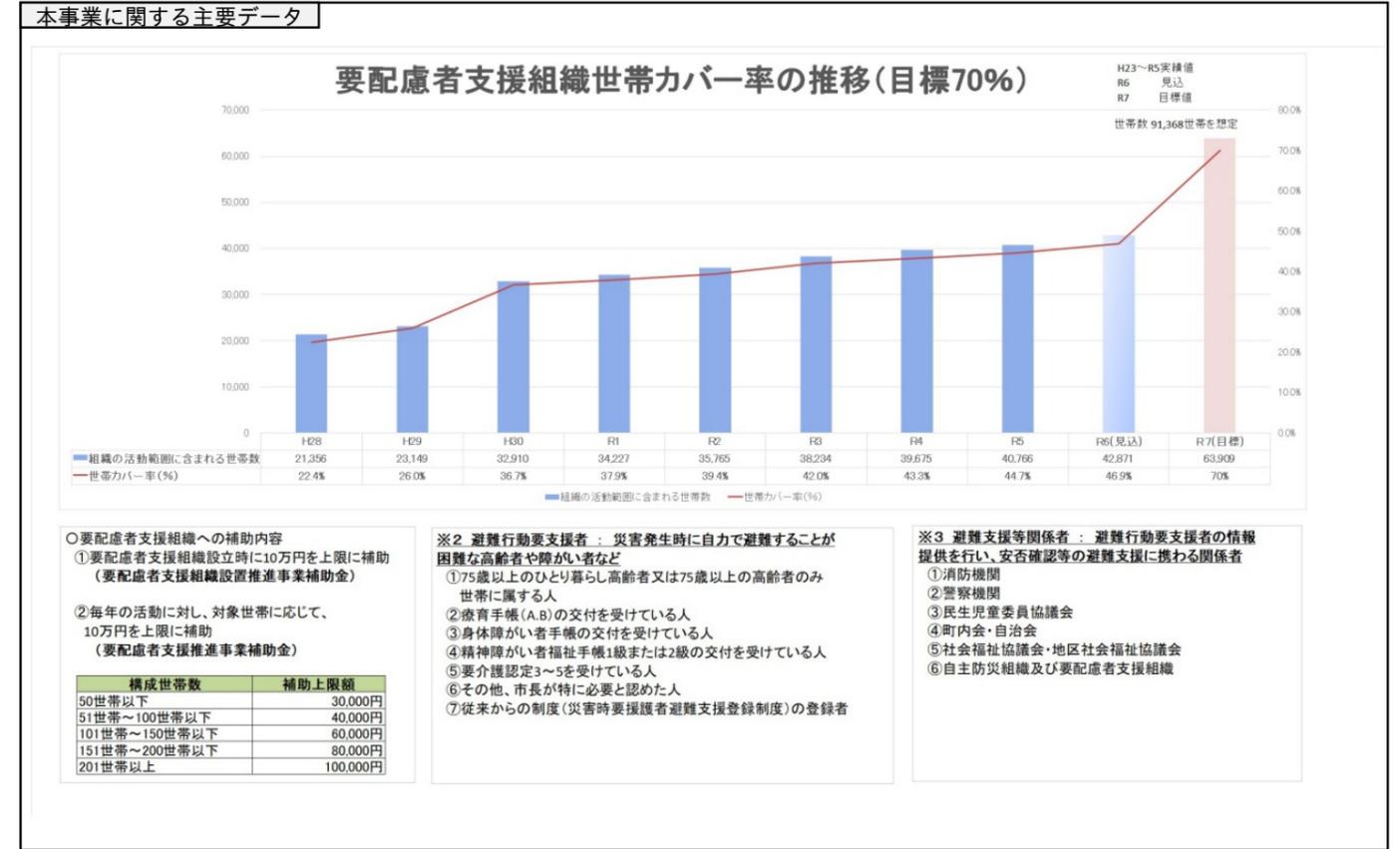
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	令和6年度世帯カバー率 46.9%	令和7年度 世帯カバー率70%	令和8年度 世帯カバー率70%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規設置組織数 8組織</li> <li>設置組織数 225組織（解散により1組織減）</li> </ul>		
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	10,949	11,865
国・県支出金		0
地方債		
その他	1,123	1,214
一般財源	9,826	10,651
歳入合計	10,949	11,865

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域によって組織の設置状況が異なるため、設置が進んでいない地域へより積極的に事業の推進を図る必要がある。</li> <li>高齢化や担い手不足等により、組織を立ち上げてはいるが実際の活動が困難あるいはできない状況になってきている地域があり、今後増加する可能性がある。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会や自主防災組織など地域にある住民組織の役割も踏まえて、要配慮者支援組織の目的や役割を丁寧に説明する必要がある。引き続き出前講座や説明会を通じて、他地区での取組事例や、組織の設立・運営に対する本市の補助制度を紹介することで、組織の設置を進める。</li> <li>自治会単位のみならず、より大きな範囲（例・公民館区を母体とする等）での組織設立を推進するなど、地域の実情に応じた働きかけをしていく。</li> </ul>
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	要配慮者支援推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	新規設置組織拡大の取り組み（出前講座や説明会の実施）		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役員費	86		
負担金補助及び交付金	11,779		
事業費計			11,865

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	自主防災組織育成費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	自主防災組織の結成を促進する。（共助）	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		自主防災組織結成率（%）	75.2	88	91	100
	目標（何を達成するのか）	松江市自主防災委員会が住民に対し「災害に備える」意識を啓発し、住民が地域で支え助け合う共助の重要性を理解・認識することで、地域の防災活動への参加につなげる。				

松江市の自主防災組織の連合体である「松江市自主防災委員会」（※）へ自主防災組織の育成や強化などの活動をしていただくために補助金を交付し、活動を支援するとともに、出前講座等において自主防災組織の必要性を説明する。

※公民館29地区から各1名選任された自主防災組織の代表者で構成する組織

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織結成の増減：2隊増</li> <li>自主防災組織数：475隊</li> <li>自主防災組織結成率：75.2%</li> <li>自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向けの研修会の実施</li> <li>防災意識啓発用資機材の購入等への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織結成率：88.0%</li> <li>自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向けの研修会の実施</li> <li>防災意識啓発用資機材の購入等への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織結成率：91.0%</li> <li>自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向けの研修会の実施</li> <li>防災意識啓発用資機材の購入等への補助</li> </ul>
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	510	
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	510	0
歳入合計		510	0

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会単位で結成されている自主防災組織においては、自治会長が隊長を兼ねていることが多く、単年度毎で会（隊）長が交代することにより、組織内での防災意識の醸成や防災活動の継続が難しい状況にある。</li> <li>活動実績のない自主防災組織に対して活動を促す働きかけが必要である。</li> <li>自主防災組織未結成地区の居住者について、災害への備えや防災意識向上など自助、共助の働きかけを検討していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識の向上や防災活動が継続することを目的に、各自主防災組織に対し、定期的な防災研修の開催や、防災意識向上につながる広報活動・情報提供を実施する。</li> <li>自主防災組織未結成地区に対しての出前講座において自主防災組織の必要性を説明する。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付決定		
	5～6月	補助金交付		
	3～4月	補助金の実績による補助金確定通知の交付		
	未定	自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員向け研修会		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	27		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計		527	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	防災出前講座実施事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域防災力の強化を図る。（自助）	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		防災出前講座の実施（回）	131	84	88	100
	目標（何を達成するのか）					
	市民等の団体が主催する会に、市職員を講師として派遣する出前講座を実施することにより、「自らの命は自分で守る」という災害への備えの大切さや、身を守るために必要となる知識・情報を共有する。					

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

**事業概要**  
 松江市地域防災計画に基づき、市民に対し、「自らの命は自分で守る」という意識の徹底や、地域の災害リスクと取るべき避難行動など、市民の防災意識を高め、家庭や職場、学校における地域の防災行動力を向上させるため、出前講座を実施する。  
 特に、日頃からの備えとして、ハザードマップの見方、避難行動の方法、非常持出品などについて積極的に周知する。

本事業に関する主要データ							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実施回数（回）	126	76	31	60	52	98	131
延べ参加者人数（人）	4,419	2,576	1,011	1,895	1,961	3,133	4,529

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	出前講座実施回数：131回	出前講座実施回数：84回	出前講座実施回数：88回
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
	歳入合計	0	0

課題	参加者の年齢層に偏りが生じている。	方向性	ホームページや広報誌を通じ、出前講座の周知を図る。 学校への出前授業を実施し、若年層の防災意識向上を図る。
----	-------------------	-----	--

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

所属	事業名
防災部防災危機管理課	総合防災センター整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	災害時における効果的な初動対応（災害情報の収集・分析・共有）を実現する。	項目（成果指標） 成果指標になじまない	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	・災害対策本部における各種情報の共有化を効率的かつ効果的に実現する映像音響設備の導入 ・災害対策本部と各支所・企業局等をWEB会議で繋ぐためのインターネット環境整備					

事業概要	<p>・防災部の新庁舎移転に併せて、災害対応を担う中枢を「総合防災センター」と位置づけ、災害時における効果的な初動対応（災害情報の収集・分析・共有・把握）を実施するための映像音響設備、インターネット環境の整備を行う。</p> <p>・各種防災情報（災害情報共有システム、河川カメラ、その他システム等）を動画や静止画で複数の映像表示ディスプレイ等にリアルタイムに切り替えて表示させることで効率的かつ効果的な情報共有を行う。</p> <p>・災害対策本部と各支所・企業局等をWEB会議で繋ぎ、必要な情報を効果的かつ迅速に情報共有する。</p> <p>・平常時の防災教育や出前講座等で活用し、市民の防災啓発を図る。</p>
------	--

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	プロポーザルの実施、契約、発注済。 新庁舎（2期棟建築工事）の事前配線や補強等について調整を行う。	防災部の移転時期に併せて総合防災センター機器の整備を行う。 運用マニュアルを作成し職員研修を行う。	—
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	0	89,057
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	85,800
	その他	0	0
	一般財源	0	3,257
歳入合計		0	89,057

課題	<p>・効果的な情報共有が可能となる機器レイアウトを実現するための配線ルートを確認すること。</p> <p>・新庁舎（2期棟）整備のスケジュールと合わせて事業を進める必要がある。</p>	方向性	<p>・災害対策本部が円滑に運営できるよう、操作しやすい映像音響設備を整備する。</p> <p>・平常時の防災学習や各種会議の効率化も考慮した整備を行う。</p>
----	---	-----	---

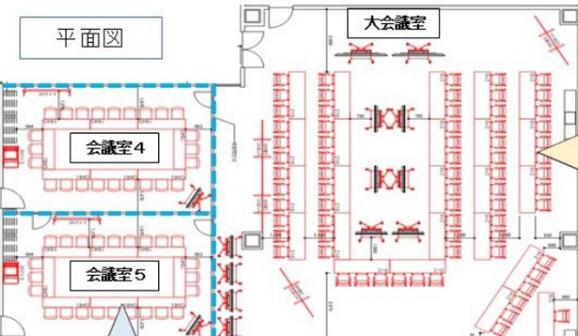
松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～11月	機器製作		
	11月～1月	配線、据付工事・機器搬入		
	2月	運用開始		

**本事業に関する主要データ**

整備イメージ

防災部の新庁舎（2期棟）移転に併せて、災害時における効果的な初動対応（災害情報の収集・分析・共有）を実現するための映像音響設備やWEB会議環境を整備する。



**【大会議室】**  
災害対策本部が設置された際に、意思決定機関として災害対策本部会議を開催し、本市の対応方針を決定する。

- 大型モニター(86型)やロースタンドモニター(55型)を導入し、リアルタイムに必要な情報を複数選択し同時に表示させることで効果的な情報共有が可能となる。
- 支所、消防本部や企業局とWEB会議で繋ぎ、情報の共有、対応、指示の迅速化を図る。
- 平時は、防災教育や防災会議等で活用する。

**レイアウトイメージ**



**【会議室4、会議室5】**  
災害時の機能班活動拠点として、松江市災害情報共有システムや関係部とのWEB会議で情報共有を図るとともに、災害情報の収集、分析、共有を行う。

- 会議室4と会議室5は、移動式間仕切りで区画されており、収納することで広く活用することが可能。
- 平時はWEB会議を含めた会議室として活用する。

主な地方債：緊急防災・減災事業

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	85,800		
備品購入費	3,257		
事業費計			89,057

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
総務部人事課	人材確保対策費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	志が高く優秀な職員を安定的に確保する	項目（成果指標） 職員採用試験WEBページの閲覧数（件）	R6実績見込 50,000	R7計画 51,000	R8計画 60,000	目標値 62,000
	目標（何を達成するのか） 職員採用試験の申込者数及び受験者数の増加					

（数値目標の目標年度）  
職員採用試験情報掲載WEBページの閲覧数（件）：2029(R11)年度

事業概要

- 採用専用サイトのコンテンツを拡充するとともに、松江市役所で働く魅力を発信し、受験に結びつけるためのプロモーション活動を行う。また、プロモーション動画の更新及び人材確保が困難な専門職のPR動画を作成し、受験者数の増加を図る。
- 中学生向けの職業体験イベントへの出展や、地元高校生向け就職情報誌におけるPRを行い、将来の受験者数の確保に努める。
- 採用に向けたプロモーション活動の一環として、中国地方の大学が開催する学生説明会に参加する。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS広告作成、情報発信</li> <li>就職情報誌掲載、採用パンフレット作成</li> <li>中学生向け職業体験イベントへの出展</li> <li>近隣大学等訪問ガイダンスへの参加</li> <li>職員採用試験説明会の開催</li> <li>仕事研究セミナー（各課職員による業務紹介）開催</li> <li>インターンシップの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS広告作成、情報発信</li> <li>職員採用専用WEBページ_追加コンテンツ、専門職用動画作成</li> <li>就職情報誌掲載</li> <li>近隣大学等訪問ガイダンスへの参加</li> <li>職員採用試験説明会の開催</li> <li>仕事研究セミナー（各課職員による業務紹介）開催</li> <li>インターンシップの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS広告作成、情報発信</li> <li>職員採用専用WEBページ_追加コンテンツ掲載、専門職用動画作成</li> <li>リクルート雑誌掲載</li> <li>近隣大学等訪問ガイダンスへの参加</li> <li>職員採用試験説明会の開催</li> <li>仕事研究セミナー（各課職員による業務紹介）開催</li> <li>インターンシップの実施</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	1,844	1,719
国・県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	1,844	1,719
歳入合計	1,844	1,719

課題	方向性
本市においても受験者数の減少傾向が続く中で、新たに「先行日程」を実施し、必要な人材確保に取り組んでいるが、受験者の増加に向けた魅力ある情報発信を強化する必要がある。	SNSを活用した情報発信や採用専用サイトのコンテンツ拡充により、仕事内容、職場環境、先輩職員の声、福利厚生などのPRを強化することで、受験者の増加を図る。専門職向けの採用PR動画等を制作することで、受験者数の増加を図る。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	職員採用プロモーション事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	職員採用試験説明会の開催	10～3月	PR動画・専門職用動画作成
	4～5月	近隣大学等訪問ガイダンスへの参加	11～3月	近隣大学等訪問ガイダンスへの参加
	8～2月	仕事体験プログラム・仕事研究セミナーの実施		
	10～2月	職員採用試験合格者交流会		

本事業に関する主要データ

令和6年度 職員採用試験の実施状況

試験区分	採用予定者数	申込者数	受検者数	合格者数	辞退者数
一般事務職	61	391	353	68	15
一般事務員(高校新卒者)	1	6	6	3	2
一般事務員(18-21)	2	9	8	3	0
一般事務員(22-26)	30	208	172	32	11
一般事務員(27-34)	20	111	111	27	1
一般事務員(35-40)	7	50	50	2	1
一般事務員(障がい者)	1	7	6	1	0
土木技術員	11	17	16	10	2
土木技術員(18-19)	1	4	4	2	0
土木技術員(20-26)	2	7	6	4	0
土木技術員(27-34)	4	1	1	1	1
土木技術員(35-40)	4	5	5	3	1
建築技術員	1	4	2	1	0
建築技術員(20-26)	1	4	2	1	0
建築技術員・機械	1	1	1	1	0
建築技術員・機械(27-40)	1	1	1	1	0
建築技術員・電気	2	4	4	1	0
建築技術員・電気(27-34)	1	1	1	0	-
建築技術員・電気(35-40)	1	3	3	1	0
文化財専門職(埋蔵文化財)	1	5	4	0	-
文化財専門職(民俗)	1	6	4	1	0
文化財専門職(建造物)	1	2	2	0	-
文化財専門職(文献史学)	1	9	8	1	0
化学	2	3	3	1	0
保健師	2	11	9	2	0
獣医師	1	0	-	-	-
薬剤師	1	2	2	0	-
幼稚園教諭・保育士共通	5	20	20	7	1
計	91	475	428	93	18

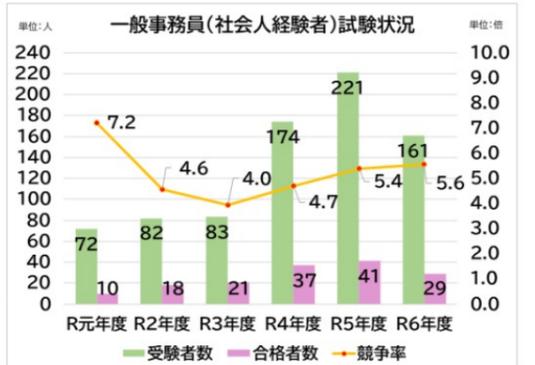
【先行日程】  
受付期間：3/22～4/15  
1次試験：[テストセンター] 4/22～5/8  
(一般事務員1次面接：5/18～19)  
2次試験：[面接] 6/22～23

【前期日程】  
受付期間：4/12～5/13  
1次試験：[筆記] 6/16  
(一般事務員1次面接：7/6～7)  
2次試験：[面接] 7/28, 8/8～10

【後期日程】  
受付期間：7/12～8/12  
1次試験：[筆記] 9/22  
2次試験：[面接] 11/2～3

【社会人経験者日程】  
<1回目>  
受付期間：7/12～8/12  
1次試験：書類審査、動画審査  
2次試験：[テストセンター] 9/9～21  
(専門職 [筆記] 9/22)  
3次試験：[面接] 11/2～4

<2回目>  
受付期間：9/13～10/14  
1次試験：書類審査、動画審査  
2次試験：[テストセンター] 11/11～23  
(専門職 [筆記] 11/24)  
3次試験：[面接] 12/21



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	87		
委託料	1,522		
使用料及び賃借料	110		
事業費計			1,719

所属	事業名
総務部総務課	文書管理システム運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	公文書管理及び決裁管理の適正化及び効率化	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
		電子決裁率（%）	92	94	96	99
	目標（何を達成するのか）					
公文書管理システム及び電子決裁システムの導入						

**事業概要**  
 公文書の收受、起案、施行、保管、廃棄など一連の管理業務を適正化・効率化する「文書管理システム」及び、押印の廃止、ペーパーレス化、決裁の効率化を推進するための「電子決裁システム」を管理・運営するもの。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	職員の意見を踏まえ、文書管理事務の効率化及び電子決裁率向上を目的としたPDCAを回していく。	職員の意見を踏まえ、文書管理事務の効率化及び電子決裁率向上を目的としたPDCAを回していく。	職員の意見を踏まえ、文書管理事務の効率化及び電子決裁率向上を目的としたPDCAを回していく。また文書管理システム・電子決裁システムの第2期更新について、プロポーザルによりR9年3月に業者決定見込。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	23,532	23,532
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	23,532	23,532
歳入合計		23,532	23,532

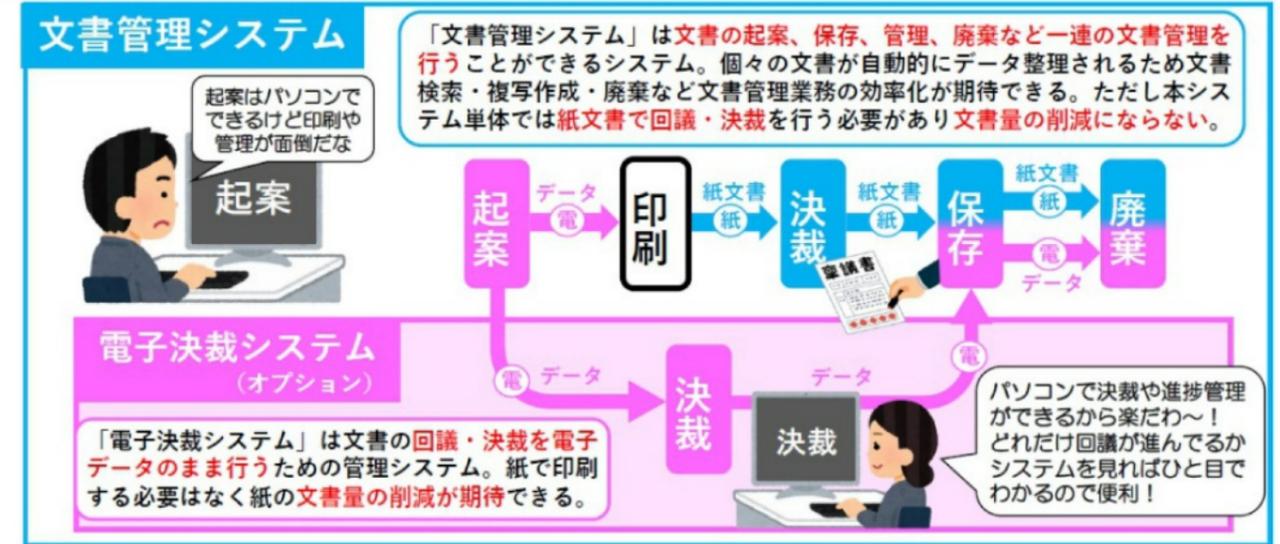
課題	方向性
システム導入前 1 不十分な文書管理 大量の文書を、Excelで作成した目録で管理 2 煩雑な現存紙文書管理 文書の検索、整理整頓、廃棄が煩雑 3 文書保管場所の不足 全体の7割を永年文書が占めており、保存・保管場所の確保及び廃棄に苦慮 4 情報公開方法の遅れ 公開請求の目的文書まで検索することが出来ないため、職員が手作業で検索	総合的な行政文書管理機能を持つ文書管理・電子決裁システムを導入し、事務処理の効率化・簡素化の推進、市民サービス向上のための庁内情報の円滑な共有と文書管理能力の向上、電子化・ペーパーレス化による紙文書の削減を図る

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	文書管理・電子決裁システムの導入・運用

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	運用、保守		

本事業に関する主要データ

(1) 文書管理システムと電子決裁システムのイメージ



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
使用料及び賃借料	23,532		
事業費計			23,532

# 令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	松江市文書館機能整備事業費ほか1事業（施設整備）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民が地域の歴史資料や歴史的公文書などの史料をもとに、地域の歴史を知ることのできる拠点を作る。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、文書館の3つの機能（①歴史公文書・地域の歴史資料の調査、収集、整理、保存②調査研究・歴史編纂③史料・情報の公開と提供）と施設を整備する。					

事業概要	<p>&lt;機能整備&gt;</p> <p>①【歴史公文書、地域の歴史資料の調査、収集、整理、保存】 歴史公文書に関しては、保存期間を満了した文書の評価・選別、文書館での公開に向けた目録の作成、保存の仕組みを整える。地域の歴史資料に関しては市内に残された未調査の文書の調査・整理・保存処置を継続的に行う。そのために、専門的職員（アーキビスト）の育成も実施する。</p> <p>②【調査研究・歴史編纂】 歴史公文書や地域の歴史資料に基づく調査・研究を行い、その成果を「松江市歴史叢書」や「松江市歴史史料集」等の刊行物に反映する。</p> <p>③【史料・情報の公開と提供】 歴史公文書や地域の歴史資料を一般の利用に供する。</p>
	<p>&lt;施設の整備&gt;</p> <p>松江市環境センターを改修し、文書館機能を果たす施設として整備する。</p>

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書の評価選別</li> <li>歴史公文書の目録化作業</li> <li>歴史公文書の整理・保存処置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書の評価選別</li> <li>歴史公文書の目録化作業</li> <li>歴史公文書の整理・保存処置</li> <li>専門職（アーキビスト）の育成</li> <li>実施設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公文書の評価選別</li> <li>歴史公文書の目録化作業</li> <li>歴史公文書の整理・保存処置</li> <li>専門職（アーキビスト）の育成</li> <li>施設改修工事、文書館開館</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職（アーキビスト）の育成</li> <li>基本計画検討委員会の開催、基本計画策定</li> </ul>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
事業費		5,152	9,916
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	1,700
	その他	0	296
	一般財源	5,152	7,920
歳入合計		5,152	9,916

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存期間を過ぎた歴史的に価値のある公文書を適切に保存・管理・公開する仕組みがない。</li> <li>歴史公文書や寄贈された地域の歴史資料（古文書等）を市民の利用に供する場所がない。</li> </ul>	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>「松江市文書館（仮称）」の機能整備を進め、作成から保存、廃棄、文書館への移管、歴史公文書の利用までの文書管理全体の仕組みを整える。</li> <li>松江市環境センターを改修し、松江市文書館と埋蔵文化財調査センターを併せ持つ文化財情報発信施設として整備する。</li> </ul>
----	---	-----	---

文化スポーツ部松江城・史料調査課 松江市文書館機能整備事業費ほか1事業（施設整備）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	松江文書館（仮称）機能整備事業費

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月頃	施設実施設計発注	8～10月頃	松江市文書館（仮称）運営協議会準備会
	5月・10月	公文書燻蒸作業	10月～1月	保存期間満了公文書の評価選別作業
	8月～10月	国立公文書館アーカイブズ研修受講	通年	歴史公文書目録整備・保存措置作業
	10月	中四国公文書館職員連絡協議会出席	通年	歴史公文書デジタルデータ化

**本事業に関する主要データ**

**平成31年（2019）3月策定「松江市文書館（仮称）整備構想」**

「公文書のライフサイクル」を見通した公文書管理体制全体の見直しを進めるとともに、「公文書管理法」の趣旨に沿って選別された**歴史公文書と、地域に所在する歴史史料（古文書等）**を一体的に保存・活用する「**文書館**」を整備することが必要。

**<文書館の基本目標>**

ア) 歴史公文書の保存・活用による行政情報の共有と説明責任の実現  
イ) 地域の歴史・文化遺産の継承と地域文化の発展への寄与  
ウ) 調査研究に基づいた歴史情報の発信と市民支援体制の構築

**<文書館の基本機能>**

松江市文書館（仮称）

収集(評価・選別)・整理・保存

史料に基づく調査研究・歴史編纂

史料・情報の公開と提供

令和4年（2022）3月策定  
松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」に掲げる「2030年松江のあるべき姿」

- 公文書がインターネット上で検索・閲覧できる
- 「文書館」が整備され、歴史史料として重要な公文書が管理されている

文書館整備のスケジュール(想定)

R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
文書館基本計画 検討・策定	実施設計	整備 工事	供用 開始

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,112	委託料	3,200
職員手当	810	備品購入費	542
共済費	508		
報償費	1,384		
旅費	560		
需用費	773		
役務費	27		
<b>事業費計</b>		<b>9,916</b>	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部広報課	シティプロモーション推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域の魅力を掘り起こし、それを市内外に効果的に発信することによって、本市への愛着心の醸成とともに本市の知名度を向上させ、関係人口、定住人口の増加につなげる。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	<b>目標（何を達成するのか）</b> ・松江の知名度向上およびイメージアップ。 ・松江に愛着を持つ人の割合を増やす。 ・松江に関心をもち、積極的にまちづくりに関わる人を増やす。	地域ブランド調査（認知度順位）	142	70	60	30

事業概要	・「新松江市合併20周年」等に合わせ、誰からも愛される「松江らしいキャラクター」を作成し、市発行物やホームページ等へのキャラクター掲載によりシティプロモーションを行う。 ・民間との協働事業である地域情報サイト「まつえナビ」により市内外に松江市の魅力を発信する。
	（数値目標の説明） 1.（株）ブランド総合研究所が毎年実施する「地域ブランド調査」における「認知度」の順位。目標年度は2029（R11）年度 2.まつえナビの月平均閲覧数。目標年度は2029（R11）年度

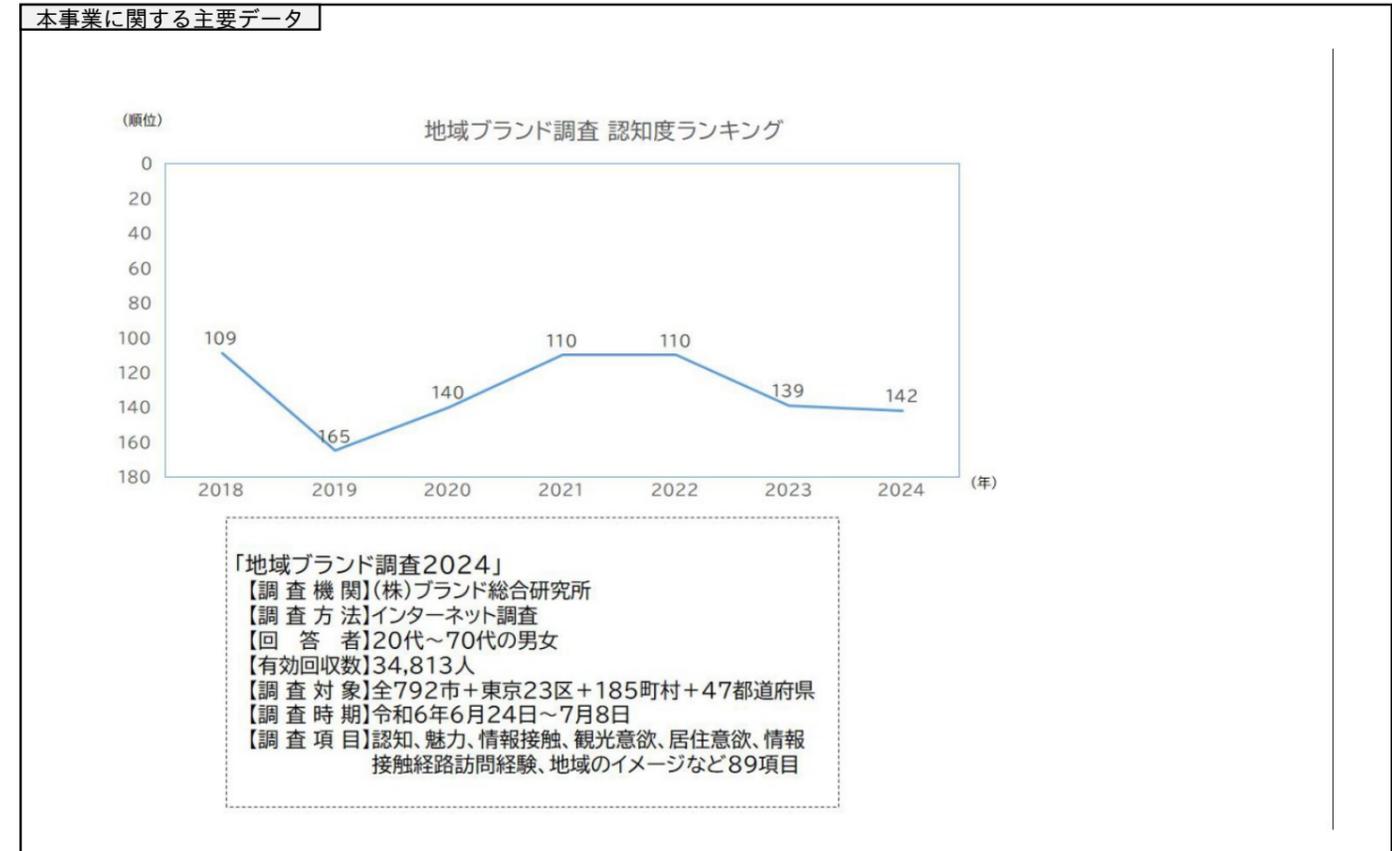
事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	・キャラクター選定委員会の設置 ・キャラクターデザイン募集 ・キャラクターデザイン 市民 ・松江ファン投票 ・キャラクターデザイン決定 ・まつえナビの機能拡充（まつえナビブログの追加）	・キャラクター愛称募集と決定 ・キャラクター着ぐるみほかグッズ作成 ・キャラクターを活用した広報活動 ・まつえナビの活用	・キャラクターを活用した広報活動 ・まつえナビの活用
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	161	3,478
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	161	3,478
	歳入合計	161	3,478

課題	・各課等が所管する既存キャラクターとの関係性の整理。 ・新キャラクターの利活用やPR方法の工夫。	方向性	・新キャラクターは、新松江市合併20周年記念等に合わせ、「新たな松江市を象徴するキャラクター」の位置づけとする。 ・各種SNS等の特性を生かした情報発信を行っていく。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	シティプロモーションの強化

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	キャラクター愛称募集	7月	キャラクターを活用した広報開始
	4月	着ぐるみ制作業務委託	10月	着ぐるみお披露目
	6月	愛称の決定		
	7月	デザインマニュアル、使用規定の作成		



R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	374		
需用費	888		
委託料	2,211		
事業費計		3,473	

令和7年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部デジタル戦略課	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	今後も続く見込まれる人口減少社会において、デジタル技術の活用により、様々な行政サービスや地域の社会・経済活動の維持・向上を図る。	項目（成果指標）	R6実績見込	R7計画	R8計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 市民サービスの向上、業務の効率化、社会課題解決及びそれらを支えるための人財育成という観点で、先進技術を取り入れながら市役所及び地域社会のデジタル化を進める。	「市民サービスの向上」開始件数（累計）	24	24	32	33
		「業務の効率化」開始件数（累計）	28	36	49	52

**事業概要**

令和3年度末策定の「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、「ちょうどいい市役所」及び「地域社会のデジタル化」をめざして、デジタル技術を用いた市民サービスの向上や業務の効率化等に取り組む。

＜松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画の進捗管理＞

- 策定した計画に基づき、「市民サービスの向上」「業務の効率化」「人財育成」「社会課題解決」の4つの柱に紐づいた取組の進捗管理を行う。

事業計画	R6実績見込	R7計画	R8計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」及び「業務の見直しプロジェクト」における各取組の進捗管理を実施</li> <li>「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」実施計画へ取組みを追加</li> <li>CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援</li> <li>新たなデジタル技術やツールの情報収集及び各課への情報提供</li> <li>高齢者を対象としたスマホ教室の実施</li> <li>「DX推進員」の設置及び研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」及び「業務の見直しプロジェクト」における各取組の進捗管理を実施</li> <li>CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援</li> <li>新たなデジタル技術やツールの情報収集及び各課への情報提供</li> <li>高齢者を対象としたスマホ教室の実施</li> <li>「DX推進員」の設置及び研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」及び「業務の見直しプロジェクト」における各取組の進捗管理を実施</li> <li>CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援</li> <li>新たなデジタル技術やツールの情報収集及び各課への情報提供</li> <li>高齢者を対象としたスマホ教室の実施</li> <li>「DX推進員」の設置及び研修の実施</li> <li>オンライン手続きの拡充による市民サービスの向上</li> </ul>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R6	R7
	決算見込	当初予算
事業費	4,316	7,057
国・県支出金		0
地方債		
その他		0
一般財源	4,316	7,057
歳入合計	4,316	7,057

課題	方向性
	<p>＜市内における課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化の方針に基づき、多数のデジタル化の取組を同時並行で進める必要がある。</li> <li>市内にデジタルリテラシーが高い人財が少ない</li> </ul> <p>＜外部における課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国から様々な方針が出されるされるため、引き続き動向を注視する必要がある。</li> </ul>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業

R7スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	デジタル市役所計画取組みの進捗管理・支援	3月	DX推進委員会の開催
	通年	各課システム導入への伴走支援		
	通年	オンライン手続きの拡充		
	6月～	先進自治体への視察		

**本事業に関する主要データ**

実施計画期間(令和4～6年度)における運用開始済の取組み(見込み)  
市民サービスの向上…23件 業務改善…30件

**【取組み事例】**

- 「書かなくて済む窓口」の開設  
転入などの際、予めスマホ等に情報を入力したり、窓口で職員が聞き取りしたりする事で申請書を書かなくても手続きができ、入力ミスの防止や時短が図られる
- 「AIデマンドバス」の運行  
AI(人口知能)が予約状況に応じて最適な運行ルートを選択して効率的に走る乗合バスの導入により、効率的な運行や運転手不足の解消が図られる
- 「保育所AI入所選考システム」の導入  
AIシステムの導入により、これまで1週間程度かかっていた保育所入所判定事務が、わずか数秒で完了し、その後の決定通知書も早期対応が可能となった
- ノーコードツールの活用  
プログラミングの知識がなくても簡単なシステムを作ることができる「ノーコードツール」の導入で、職員自らアプリが作成でき、業務効率化や経費節減が図られる。

R7節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,148		
職員手当等	810		
共済費	481		
旅費	704		
需用費	7		
委託料	1,235		
使用料及び賃借料	1,672		
事業費計		7,057	